

平成16年度

国立大学法人

# 長崎大学概要



# 長崎大学の理念と基本目標

長崎大学は、「長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献する」との理念に基づき、新世紀初頭の国立大学法人への移行を契機に、更なる教育・研究の高度化と個性化を図り、アジアを含む地域社会とともに歩みつつ、世界にとって不可欠な「知の情報発信拠点」であり続けることを宣言する。

この理念の達成に向けた基本目標として、以下の5項目の最重点事項を掲げる。

- (1) 長崎大学は教育，研究の両面で世界のトップレベルを目指して，戦略的な教育研究企画を推進し，教育・研究の更なる高度化，個性化を図る。
- (2) 「学生顧客主義」の標語の下，教養教育，学部専門教育，大学院教育の充実を図って最高水準の教育を提供するとともに，入学者選抜，課外活動，就職などを含む学生生活の全般にわたって支援体制を一段と強化する。
- (3) 大学で創造する知的財産の適正な管理を行い，知的財産と人的・物的資源を活用した地域連携，産学官連携，国際的連携をとおして教育・研究成果の社会への還元を推進する。
- (4) 不断に外部評価も含めた点検・評価を行い，それを教育・研究の改善実施に直結できる体制を整備し，かつ，その情報公開に努める。
- (5) 教育研究組織，事務組織の見直しや情報の一元的な管理体制を構築することにより業務の高度化，効率化を図る。また，柔軟な管理運営，人事，財務システムを導入して大学法人の経営基盤を確立する。

(国立大学法人長崎大学中期目標前文より)

表紙説明：平成16年度長崎大学入学式挙行後，長崎大学構内において学生サークル「龍踊部」による龍踊り（じゃおどり）が披露されました。  
新入生をはじめ，在学生，教職員が見守る中，勇壮な龍踊りに「モッテコーイ」の掛け声が響き渡りました。

## 目次

## 1 組織・沿革

機構図.....	2
沿革図.....	3
沿革.....	4
歴代学長.....	8
役員会.....	9
学長選考会議委員.....	9
経営協議会委員.....	9
教育研究評議会評議員.....	9
役職員.....	10
学年暦.....	12

## 2 教育研究等

学部	
教育学部.....	13
経済学部.....	14
医学部.....	15
歯学部.....	16
薬学部.....	17
工学部.....	18
環境科学部.....	19
水産学部.....	20
大学院	
教育学研究科.....	21
経済学研究科.....	21
生産科学研究科.....	22
医歯薬学総合研究科.....	22

## 3 役員・職員・学生数等

役員・職員数.....	23
学生数.....	24
平成16年度入学者状況.....	26
平成15年度卒業生（修了者）及び 進路状況.....	28
就職者産業別内訳.....	29
過去5年間の進路状況の推移.....	29
学位授与数.....	30

## 4 研究所等

附置研究所.....	31
学内共同教育研究施設.....	32
学部等附属教育研究施設.....	33

## 5 附属施設等

附属図書館.....	34
医学部・歯学部附属病院.....	35
教育学部附属学校.....	37

## 6 厚生補導施設等.....38

## 7 国際交流

平成16年度外国人留学生.....	40
外国の大学等との学术交流協定 締結状況.....	41

## 8 社会貢献

知的財産本部.....	44
産学連携.....	44

## 9 財政

平成15年度歳入歳出決算額.....	45
平成16年度予算額.....	45
外部資金等.....	45

## 10 公開講座.....46

## 11 併設短期大学

医療技術短期大学部.....	47
----------------	----

## 12 キャンパス

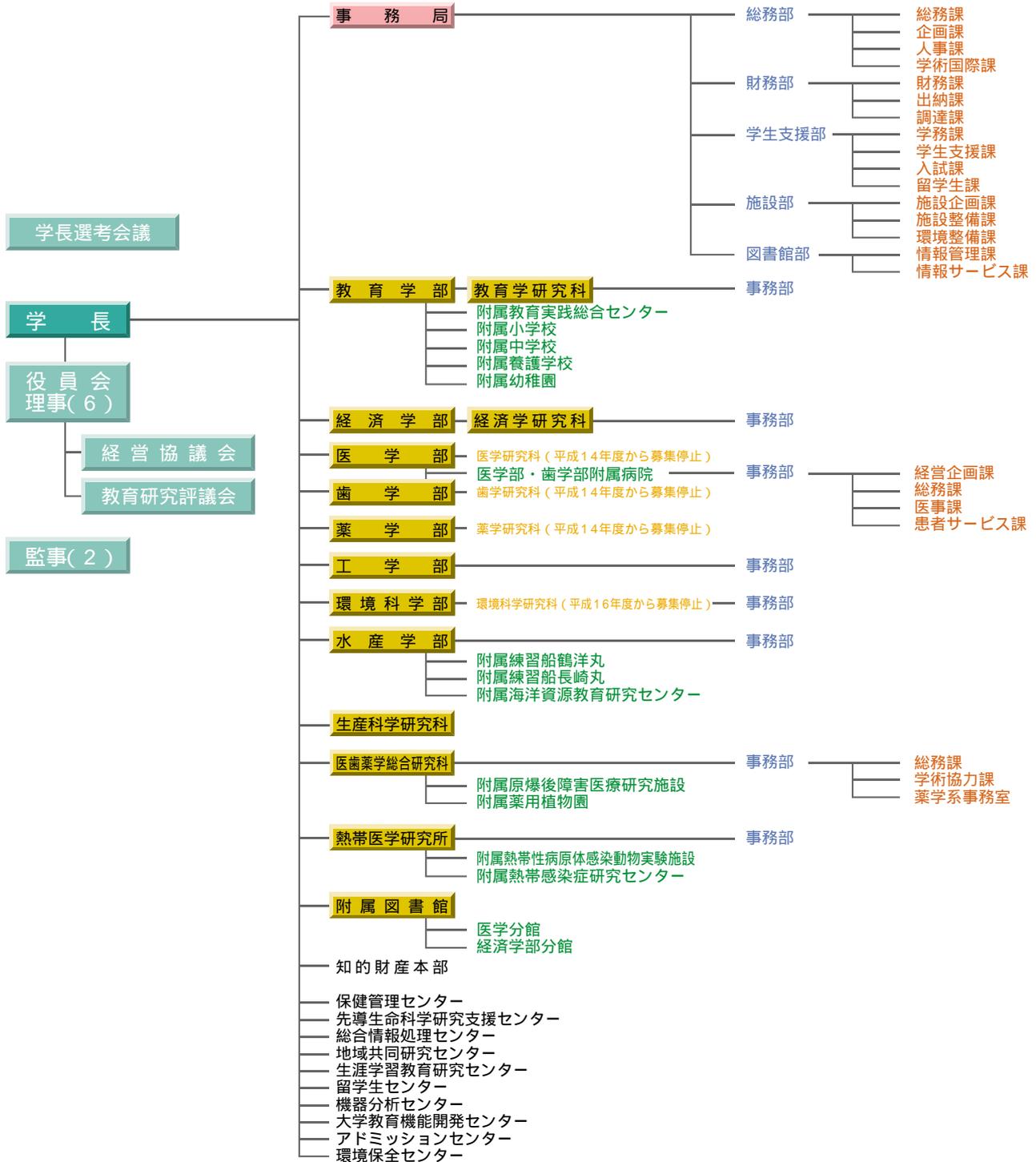
土地・建物・船舶.....	48
長崎大学地区別配置図.....	49
部局等所在地一覧.....	52
長崎大学位置図.....	53

## 13 長崎大学交通案内.....55

# 1

# 組織・沿革

## 機構図



長崎大学医療技術短期大学部（併設）  
（平成14年度から学生募集停止）

# 沿革図



平成16年4月  
国立大学法人長崎大学



# 沿 革

長崎大学は、昭和24年（1949年）5月31日国立学校設置法（昭和24年法律第150号）により、旧制の長崎医科大学、長崎医科大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校、長崎高等学校を包括し、学芸学部（甲類・小学校教員養成科、中学校高等学校教員養成科、乙類・小学校教員養成科、中学校高等学校教員養成科）、経済学部（経済学科、商学科）、医学部（医学科）、薬学部（薬学科）、水産学部（漁業学科、水産製造学科、水産増殖学科）の5学部（5）に附属図書館を置き、風土病研究所が附置され、学部附属の学校又は教育施設として、学芸学部（学芸）に小学校・中学校・幼稚園、医学部に病院・病院分院・看護婦養成施設をもつ新制大学として設置された。

その後の沿革概要は、次のとおりである。



正門門標

昭和25 . 3  
(1950年)

- 3 長崎高等学校廃止
- 5 大村一般教養部、長崎一般教養部を統合して大村分校設置

昭和26 . 3  
(1951年)

- 3 長崎大学商業短期大学部併設
- 3 医学部附属看護学校設置
- 3 長崎医科大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校廃止

6

- 6 厚生補導部を補導部と改称

28 . 4  
(1953年)

- 4 水産学部に専攻科（特設専攻科）設置

29 . 4  
(1954年)

- 4 長崎大学大村分校を長崎大学分校と改称
- 4 経済学部に経済学専攻科設置

30 . 4  
(1955年)

- 4 医学部に講座制施行
- 4 大学院医学研究科設置
- 4 医学部に附属助産婦学校設置

31 . 1  
(1956年)

- 1 補導部を学生部と改称
- 4 薬学部に薬学専攻科設置

35 . 3  
(1960年)

- 3 長崎医科大学廃止
- 4 水産学部に水産専攻科設置

37 . 4  
(1962年)

- 4 医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置

39 . 4  
(1964年)

- 4 教養部設置（分校廃止）
- 4 水産学部に附属練習船「長崎丸」設置

40 . 3  
(1965年)

- 4 薬学専攻科廃止
- 4 大学院薬学研究科設置

- 4 学芸学部に学芸専攻科設置

41 . 4  
(1966年)

- 4 保健管理センター設置
- 4 工学部（機械工学科、電気工学科）設置
- 4 学芸学部を教育学部と改称、これに伴い学芸専攻科を教育専攻科に改称

42 . 4  
(1967年)

- 4 教育学部に養護学校教員養成課程設置
- 4 薬学部に製薬化学科設置
- 4 工学部に構造工学科設置

6

- 6 風土病研究所を熱帯医学研究所と改称
- 6 水産学部に附属水産実験所設置

43 . 4  
(1968年)

- 4 経済学部に貿易学科設置

44 . 4  
(1969年)

- 4 工学部に土木工学科設置

12

- 12 電子計算機室設置

45 . 4  
(1970年)

- 4 水産専攻科改廃止（漁業専攻中の特設専攻科を遠洋漁業専攻と改称し、漁業専攻、水産製造専攻、水産増殖専攻は廃止）

46 . 2  
(1971年)

- 2 大学院水産学研究科設置
- 2 工学部に材料工学科設置
- 2 附属図書館の整備統合（教育学部分館、薬学部分館、水産学部分館、熱帯医学研究所分館廃止・経済学部分館、医学部分館は従来どおり存置）

4

- 4 教育学部に附属養護学校設置
- 4 経済学部商学科を経営学科と改称
- 4 大学院薬学研究科に製薬化学専攻設置
- 4 工学部に工学専攻科（機械工学、電気

47. 4 (1972年) 5	工学, 構造工学) 設置 ・工学部に工業化学科設置 ・医学部に附属原爆医学資料センター設置 ・薬学部に附属薬用植物園設置	55. 4 (1980年)	分析センター廃止) ・医学部に附属動物実験施設設置 ・歯学部に附属病院創設準備室設置 ・工学研究科に電子工学専攻設置
48. 4 (1973年)	・水産学部の漁業学科, 水産製造学科及び水産増殖学科を水産学科に改組 ・工学部工学専攻科に土木工学専攻設置 ・教育学部に附属教育工学センター設置	56. 4 (1981年) 57. 4 (1982年)	・歯学部附属病院設置 ・歯学部附属病院創設準備室廃止 ・商業短期大学部商経学科の専攻課程を2専攻課程から3専攻課程(経済専攻, 経済法学専攻, 経営情報専攻)に改組
49. 4 (1974年)	・大学院水産学研究科漁業学専攻, 水産製造学専攻及び水産増殖学専攻を水産学専攻に改称 ・工学部工学専攻科に材料工学専攻設置 ・教育学部に幼稚園教員養成課程設置 ・医学部附属原爆医学資料センターを医学部附属原爆被災学術資料センターと改称 ・熱帯医学研究所に附属熱帯医学資料室設置	58. 4 (1983年)	・工学研究科に機械工学第二専攻設置 ・医療技術短期大学部創設準備室設置 ・国際交流会館設置 ・医療技術短期大学部(看護学科)併設 ・医療技術短期大学部創設準備室廃止 ・商業短期大学部を商科短期大学部と改称
50. 4 (1975年) 6	・水産学部に附属練習船「鶴洋丸」設置 ・排水等分析センター設置	59. 4 (1984年)	・商業短期大学部を商科短期大学部と改称 ・水産学部水産学科18講座を6大講座に改組 ・医療技術短期大学部に理学療法学科及び作業療法学科設置
51. 4 (1976年)	・工学部に電子工学科設置 ・大学院工学研究科設置 ・九州地区国立大学島原共同研修センター設置	10 61. 4 (1986年)	・医学部附属看護学校廃止 ・大学院歯学研究科設置 ・薬学研究科に医療薬科学専攻(博士課程前・後期)設置(薬学専攻及び製薬化学専攻を改組) ・薬学部の薬学科及び製薬化学科を薬科学科に改組 ・教育学部に附属教育実践研究指導センター設置(附属教育工学センター廃止)
52. 4 (1977年)	・工学研究科に土木工学専攻設置 ・工学専攻科廃止 ・歯学部創設準備室設置 ・商業短期大学部商業学科を商経学科(経済・法律専攻, 経営情報専攻)と改称	6 9	・計測・分析センター設置 ・外国人留学生指導センター設置 ・環境保全センター設置(排水等分析処理センター廃止)
53. 3 (1978年) 4	・R I センター設置 ・工学部に機械工学第二学科設置	62. 4 (1987年)	・医学部附属助産婦学校廃止 ・工学研究科に海洋生産開発学専攻(後期3年博士課程)設置 ・医療技術短期大学部に専攻科(助産学特別専攻)設置
54. 4 (1979年)	・熱帯医学研究所に附属熱帯性病原体感染動物実験施設設置 ・附属図書館医学部分館を医学分館と改称	63. 4 (1988年)	・大学院海洋生産科学研究科(後期3年博士課程)設置 ・大学院工学研究科海洋生産開発学専攻は, 海洋生産科学研究科へ移行
5	・情報処理センター設置(電子計算機室廃止)		
10	・歯学部歯学科設置 ・歯学部創設準備室廃止		
11	・排水等分析処理センター設置(排水等		

平成元 . 5  
(1989年)

- 工学部電気工学科及び電子工学科を電気情報工学科に改組

2 . 4  
(1990年)

- 総合情報処理センター設置 (情報処理センター廃止)

6

- 熱帯医学研究所を全国共同利用の研究所に改組

3 . 4  
(1991年)

- 工学部機械工学科及び機械工学第二学科を機械システム工学科に改組

- 地域共同研究センター設置

- 経済学部経済学科 8 学科目を 3 大学科目に, 経営学科 8 学科目を 2 大学科目に, 貿易学科 6 学科目をファイナンス学科 2 大学科目に改組, 2 共通学科目を廃止

- 工学部構造工学科 4 講座を 2 大講座に, 土木工学科 4 講座を社会開発工学科 2 大講座に, 材料工学科 4 講座を 2 大講座に, 工業化学科 4 講座を応用化学科 2 大講座に改組

- アイソトープ総合センター設置 (R I センター廃止)

4 . 4  
(1992年)

- 大学院工学研究科電気工学専攻及び電子工学専攻を電気情報工学専攻と改称

5 . 4  
(1993年)

- 生涯学習教育研究センター設置

6 . 4  
(1994年)

- 大学院教育学研究科設置

- 教育専攻科廃止

- 大学院工学研究科機械工学専攻及び機械工学第二専攻を機械システム工学専攻と改称

6

- 熱帯医学研究所10部門を 3 大部門に改組

7 . 4  
(1995年)

- 大学院経済学研究科設置

- 経済学専攻科廃止

- 大学院工学研究科土木工学専攻を社会開発工学専攻に, 工業化学専攻を応用化学専攻に改称

8 . 5  
(1996年)

- 留学生センター設置 (外国人留学生指導センター廃止)

9 . 4  
(1997年)

- 医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置 (附属原爆後障害医療研究施設及び附属原爆被災学術資料センター廃止)

10

- 水産学部に附属海洋資源教育研究センター設置 (附属水産実験所廃止)

- 熱帯医学研究所に附属熱帯病資料情報センター設置 (附属熱帯医学資料室廃止)

- 環境科学部 (環境科学科) 設置

- 教養部廃止

- 経済学部経済学科, 経営学科及びファイナンス学科を総合経済学科に改組 (昼夜開講制の実施)

10 . 4  
(1998年)

- 教育学部小学校教員養成課程, 中学校教員養成課程, 養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程を学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程に改組

- 大学院教育学研究科教科教育専攻に保健体育専修及び家政教育専修設置

- 工学部電気情報工学科を電気電子工学科及び情報システム工学科に改組

- 機器分析センター設置 (計測・分析センター廃止)

11 . 4  
(1999年)

- 大学院薬学研究科に臨床薬学専攻 (独立専攻) を設置し, 医療薬科学専攻を薬科学専攻に改称

- 副学長の設置 (学生部長の廃止)

- 事務局及び学生部の事務局一元化に伴い, 学務部設置 (学生部の廃止)

12 . 4  
(2000年)

- 大学院教育学研究科教科教育専攻に社会科教育専修及び理科教育専修設置

- 大学院医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻 (独立専攻) 設置

- 大学院生産科学研究科 (区分制博士課程) 設置

- 遺伝子実験施設設置

- 長崎大学商科短期大学部 (併設) 廃止

13 . 4  
(2001年)

- 大学院生産科学研究科海洋生産開発学専攻及び海洋資源学専攻を海洋生産科学専攻及び物質科学専攻に改組

- 教育学部に附属教育実践総合センター設置 (附属教育実践研究指導センター廃止)

- 熱帯医学研究所に附属熱帯感染症研究

10  
14. 4  
(2002年)

- センター設置（附属熱帯病資料情報センター廃止）
- ・医学部医学科の31小講座，1大講座を6大講座に改組
- ・医学部に保健学科設置
- ・大学院環境科学研究科設置
- ・大学院医歯薬学総合研究科設置
- ・大学教育機能開発センター設置
- ・アドミッションセンター設置
- ・医学部医学科の6大講座を4大学科目に改組
- ・歯学部歯学科の18小講座を3大学科目に改組
- ・薬学部薬科学科の4大講座を2大学科目に改組

15. 4  
(2003年)

- ・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行）
- ・先導生命科学研究支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止）

10

16. 4  
(2004年)

- ・医学部・歯学部附属病院設置（医学部附属病院及び歯学部附属病院の統合）
- ・国立大学法人法（平成15年法律第112号）により，国立大学法人長崎大学が長崎大学を設置
- ・大学院経済学研究科に経営意思決定専攻（博士後期課程）設置
- ・大学院生産科学研究科に環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻（博士前期課程）並びに環境科学専攻（博士後期課程）設置
- ・水産学部の水産専攻科廃止



国立大学法人長崎大学銘板



## 歴代学長



齋藤 寛 学長

### 長崎大学長

初代	高瀬 清	(任期：昭和24年6月29日～昭和27年6月5日)
(事務取扱)	池田 晋吾	(任期：昭和27年6月6日～昭和27年11月17日)
第2代	古屋野 宏平	(任期：昭和27年11月18日～昭和33年11月17日)
第3代	北村 精一	(任期：昭和33年11月18日～昭和37年11月17日)
第4代	和泉 成之	(任期：昭和37年11月18日～昭和41年11月17日)
第5代	後藤 敏郎	(任期：昭和41年11月18日～昭和44年4月3日)
(事務取扱)	栗原 道德	(任期：昭和44年4月4日～昭和44年5月6日)
第6代	中塚 正行	(任期：昭和44年5月7日～昭和49年7月31日)
(事務取扱)	保田 正人	(任期：昭和49年8月1日～昭和49年10月10日)
第7代	具島 兼三郎	(任期：昭和49年10月11日～昭和55年10月10日)
第8代	福見 秀雄	(任期：昭和55年10月11日～昭和59年10月10日)
第9代	保田 正人	(任期：昭和59年10月11日～昭和63年10月10日)
第10代	土山 秀夫	(任期：昭和63年10月11日～平成4年10月10日)
第11代	横山 哲夫	(任期：平成4年10月11日～平成10年10月10日)
第12代	池田 高良	(任期：平成10年10月11日～平成14年10月10日)
第13代	齋藤 寛	(任期：平成14年10月11日～平成16年3月31日)

### 国立大学法人長崎大学長

初代	齋藤 寛	(任期：平成16年4月1日～現在)
----	------	-------------------

## 役員会

平成16年7月1日現在

議長 齋藤 寛	学長	片峰 茂	理事（研究・国際交流担当）
松岡 数充	理事（総務・企画担当）	崎山 毅	理事（社会貢献・情報担当）
森田 秀亮	理事（財務担当）	伊藤 昭六	理事（地域連携担当）(非常勤)
福永 博俊	理事（人事・教育担当）		

## 学長選考会議委員

平成16年7月1日現在

議長 福地 茂雄	アサヒビール(株)代表取締役会長	中田 英昭	水産学部長
今村 定臣	長崎県医師会副会長	谷山紘太郎	医歯薬学総合研究科長
上野 廣志	JA 長崎県中央会長	寺崎 明美	医療技術短期大学部部长
小久保徳子	(株)ゆびとま代表取締役社長	青木 克己	熱帯医学研究所長
野崎 元治	長崎商工会議所会頭・十八銀行最高顧問	齋藤 寛	学長
山田 英	アンジェスエムジー(株)代表取締役社長	松岡 数充	理事（総務・企画担当）
杉原 敏夫	経済学部長	崎山 毅	理事（社会貢献・情報担当）
井上 義彦	環境科学部教授		

## 経営協議会委員

平成16年7月1日現在

議長 齋藤 寛	学長	雨宮 忠	独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長
森田 秀亮	理事（財務担当）	今村 定臣	長崎県医師会副会長
片峰 茂	理事（研究・国際交流担当）	上野 廣志	JA 長崎県中央会長
崎山 毅	理事（社会貢献・情報担当）	金子原二郎	長崎県知事
杉原 敏夫	経済学部長	小久保徳子	(株)ゆびとま代表取締役社長
兼松 隆之	医学部長	南條 宏	三菱重工業(株)特別顧問
中島憲一郎	薬学部長	野崎 元治	長崎商工会議所会頭・十八銀行最高顧問
小山 純	工学部長	福地 茂雄	アサヒビール(株)代表取締役会長
中田 英昭	水産学部長	松平 和夫	(株)長崎新聞社代表取締役社長
澄川 耕二	医学部・歯学部附属病院長	山田 英	アンジェスエムジー(株)代表取締役社長

## 教育研究評議会評議員

平成16年7月1日現在

議長 齋藤 寛	学長	石田 正弘	生産科学研究科長
松岡 数充	理事（総務・企画担当）	谷山紘太郎	医歯薬学総合研究科長
福永 博俊	理事（人事・教育担当）	寺崎 明美	医療技術短期大学部部长
片峰 茂	理事（研究・国際交流担当）	青木 克己	熱帯医学研究所長
伊藤 昭六	理事（地域連携担当）(非常勤)	澄川 耕二	医学部・歯学部附属病院長
橋本 健夫	教育学部長	岡林 隆敏	附属図書館長
杉原 敏夫	経済学部長	石井 伸子	保健管理センター所長
兼松 隆之	医学部長	森田 秀亮	事務局長
熱田 充	歯学部長	玉利 正人	教育学部教授
中島憲一郎	薬学部長	新川 詔夫	医歯薬学総合研究科教授
小山 純	工学部長	藤井 弘之	医歯薬学総合研究科教授
井手 義則	環境科学部長	井上 義彦	環境科学部教授
中田 英昭	水産学部長	下田 澄江	医学部・歯学部附属病院看護部長



## 役 職 員

平成16年7月1日現在

学 長	齋 藤 寛	学 生 支 援 課 長	松 田 正 浩
理 事 ( 総 務 ・ 企 画 担 当 )	松 岡 數 充	入 試 課 長	濱 田 道 夫
理 事 ( 財 務 担 当 , 兼 事 務 局 長 )	森 田 秀 亮	留 学 生 課 長	高 宮 良 一
理 事 ( 人 事 ・ 教 育 担 当 )	福 永 博 俊	施 設 部 長	出 水 武 雄
理 事 ( 研 究 ・ 国 際 交 流 担 当 )	片 峰 茂	施 設 企 画 課 長	山 口 正 春
理 事 ( 社 会 貢 献 ・ 情 報 担 当 )	崎 山 毅	施 設 整 備 課 長	伊 藤 猛 夫
理 事 ( 地 域 連 携 担 当 ( 非 常 勤 ) )	伊 藤 昭 六	環 境 整 備 課 長	篠 原 彰 一
監 事	平 山 和 次	図 書 館 部 長	安 永 勉
監 事 ( 非 常 勤 )	居 原 哲	情 報 管 理 課 長	益 森 治 巳
		情 報 サービス 課 長	森 高 桂 子
学 長 補 佐	佐	学 部 等	
学 長 補 佐 ( 財 務 担 当 )	須 齋 正 幸	教 育 学 部	
学 長 補 佐 ( 入 試 担 当 )	吉 田 雅 章	教 育 学 部 長	橋 本 健 夫
学 長 補 佐 ( 学 生 担 当 )	上 園 恒 太 郎	事 務 長	佐 藤 三 郎
学 長 補 佐 ( 研 究 担 当 )	中 山 守 雄	附 属 小 学 校 長	村 田 義 幸
学 長 補 佐 ( 国 際 貢 献 担 当 )	平 山 謙 二	附 属 中 学 校 長	中 西 弘 樹
学 長 補 佐 ( 医 療 担 当 )	本 多 正 幸	附 属 養 護 学 校 長	相 川 勝 代
学 長 補 佐 ( 情 報 担 当 )	中 村 卓	附 属 幼 稚 園 長	飯 塚 知 敬
		附 属 教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー 長	福 井 昭 史
事 務 局		経 済 学 部	
事 務 局 長	森 田 秀 亮	経 済 学 部 長	杉 原 敏 夫
総 務 部 長	脇 坂 信 夫	事 務 長	吉 田 碩
総 務 課 長	米 澤 宏	医 学 部	
企 画 課 長	石 田 澄 夫	医 学 部 長	兼 松 隆 之
人 事 課 長	城 門 安 行	歯 学 部	
学 術 国 際 課 長 ( 事 務 取 扱 )	脇 坂 信 夫	歯 学 部 長	熱 田 充
財 務 部 長	前 田 千 尋	薬 学 部	
財 務 課 長	山 代 文 雄	薬 学 部 長	中 島 憲 一 郎
出 納 課 長	井 上 勝 敏	工 学 部	
調 達 課 長	陣 野 勝 久	工 学 部 長	小 山 純
学 生 支 援 部 長	本 地 悦 郎	事 務 長	嶋 本 勇
学 務 課 長	小 野 弘		

環境科学部		医学部・歯学部附属病院	
環境科学部長	井手義則	附属病院長	澄川耕二
事務長	柴田元昭	事務部長	上村茂敏
水産学部		経営調整官	谷口信雄
水産学部長	中田英昭	経営企画課長	寺坂和記
事務長	佐藤久人	総務課長	河野雅史
附属練習船鶴洋丸船長	秋重祐章	医事課長	阿部芳生
附属練習船長崎丸船長	高木保昌	患者サービス課長	村上弘行
附属海洋資源教育研究センター長	石松惇	薬剤部長	佐々木均
大学院		看護部長	下田澄江
教育学研究科長	橋本健夫	附属図書館	
経済学研究科長	杉原敏夫	附属図書館長	岡林隆敏
医学研究科長	兼松隆之	医学分館長	相川忠臣
歯学研究科長	熱田充	経済学部分館長	柴多一雄
薬学研究科長	中島憲一郎	厚生施設	
環境科学研究科長	井手義則	保健管理センター所長	石井伸子
生産科学研究科長	石田正弘	学内共同教育研究施設	
医歯薬学総合研究科長	谷山紘太郎	先導生命科学研究支援センター長	佐藤浩
事務部長	松浦孝則	総合情報処理センター長	宮原末治
総務課長	坂口豊	地域共同研究センター長	江頭誠
学術協力課長	吉永五十六	生涯学習教育研究センター長	糸山景大
薬学系事務室長	大塚二三男	留学生センター長	松村功啓
附属原爆後障害医療研究施設長	朝長万左男	機器分析センター長	畑山範
附属薬用植物園長	河野功	大学教育機能開発センター長	福永博俊
医療技術短期大学部		アドミッションセンター長	福永博俊
部長	寺崎明美	環境保全センター長	武政剛弘
附置研究所		九州地区国立大学島原共同研修センター	
熱帯医学研究所長	青木克己	所長	福永博俊
事務長	牧山謹一郎		
附属熱帯性病原体感染動物実験施設長	神原廣二		
附属熱帯感染症研究センター長	嶋田雅暁		

# 学 年 暦



4月1日(木) 学年始

4月8日(木) 入学式

5月31日(月) 開学記念日

8月11日(水) }  
9月30日(木) } 夏季休業

10月1日(金) 後期授業開始

11月20日(土) }  
11月23日(火) } 学園祭

11月22日(月) 臨時休業日

12月25日(土) }  
1月7日(金) } 冬季休業

3月21日(月) }  
4月7日(木) } 春季休業

3月25日(金) 卒業式

3月31日(木) 学年終

# 2

## 教育研究等

### 学部

#### 教育学部

教育学部は、長崎県及び各地の教育界を支える教員の養成の場として100年を越える歴史を持っています。この間、教員を目指す多くの若人たちが講義を受け実習を行って自らを磨き、希望と情熱を持って子どもたちの待つ学校へ巣立っていきました。

平成10年には、小・中学校の教員養成を目的とした学校教育教員養成課程のほかに人と人を結び、人を育てるといった視点を持った社会人の育成を目指す新しい課程、情報文化教育課程も発足しました。前者には、初等教育、中学校教育、障害児教育の3つのコースがあり、義務教育段階の教育に大きく貢献できる教員の養成を行っています。後者は情報メディア、クロスカルチャー、芸術文化の3コースから成り、教育的視野とともにITリテラシーや国際理解能力を備えた社会のリーダーの育成を行っています。

#### 学部・課程・講座

学部	課程	講座
<b>教育学部</b> 2 課程 6 講座	学校教育教員養成課程  情報文化教育課程	国際文化 数理情報 芸術表現 生活健康 人間開発 初等教育



教育学部



教育実習風景

## 経済学部

経済学部は、明治38年（1905年）に東京高等商業学校（現一橋大学）、神戸高等商業学校（現神戸大学）に次ぐ第3番目に設立された「長崎高等商業学校」を母体とし、戦後の学制改革により「長崎大学経済学部」として新たな歴史を歩んできました。

長崎大学唯一の社会科学系学部として「実践的エコノミストの養成」という建学の精神を引き継ぎ、グローバル化・情報化の進展する現代経済社会にふさわしい実践的問題解決能力を持った人材の育成を行っています。

社会のニーズに対応した6つのコースを持つ教育システムに加え、民間企業・シンクタンクの実務経験者をはじめ中央官庁からの現役出向教員、外国人教員など教育スタッフの多彩性もまた経済学部の特徴、魅力です。

### 学部・学科・講座

学部	学科	講座
<b>経済学部</b> 1 学科 6 講座	総合経済学科	理論・計量経済 地域・経済政策 経済協力・国際コミュニケーション 金融システム 企業行動・意思決定 経営管理・企業会計



経済学部



演習風景

## 医学部

医学部は、日本で最も古い公立医学校です。安政4年（1857年）11月12日、江戸時代の末期にオランダ海軍軍医ボンベが最初に西洋医学の講義を行ったのが始まりです。当時、日本全国の俊英が長崎に集り、医学を学んでから日本の各地での医療の普及に務めました。それから現在に至るまで長崎大学医学部は国際的に活動しています。

例えば、シーボルトが長崎で医学教育をした実績から、シーボルトにゆかりの深いドイツ・ビュルツブルグ大学やオランダ・ライデン大学の各医学部学生との交換留学を実施しています。また、本学部が受けた被爆の経験を十分に生かして、原爆後障害医療研究施設を中心に、放射線障害についても国際的な研究が行われています。それらの研究成果が評価され、平成14年4月には大学院大学（大学院医歯薬学総合研究科）が設置されました。

また、平成13年10月には生命や人間の尊厳に基づく心豊かな教養を備え、高度な専門的知識・技能を修得し、広く社会に貢献できる資質の高い医療専門職者を育成するため、保健学科が設置されました。

### 学部・学科・学科目・講座

学部	学科	学科目
<b>医学部</b> 2学科 4学科目 8講座	医 学 科	構造・機能・代謝学 病態解析医学 疾患制御医学 社会医学
	保 健 学 科	<b>講 座</b> 基礎看護学 臨床看護学 母子看護学 地域看護学 基礎理学療法学 臨床理学療法学 基礎作業療法学 臨床作業療法学



医 学 部



OSCE（客観的臨床能力試験）風景

## 歯学部

歯学部は、歯学の進歩と地域歯科医療への貢献を使命として昭和54年10月に設置されました。平成14年4月に従来の医学・歯学・薬学の3研究科を再編統合した大学院医歯薬学総合研究科の設置に伴い、3大学科目制で大学院教員による学部教育が実施されています。教育目標は、基本的教養と隣接分野の幅広い知識を修得させるとともに、歯学に関する高度の専門知識と基礎となる技術を修得させ、責任感と社会性を身に付けた、患者さんから信頼される歯科医師及び創造性豊かで的確な判断力と洞察力を有する歯学研究者を養成することです。この目標を達成するために、一般教育及び歯科医学の周辺領域にわたる学問を教授するのと並行して歯科医学の専門知識と歯科医療に関する各種専門技能を教授しています。

### 学部・学科・学科目

学部	学科	学科目
<b>歯学部</b> 1 学科 3 学科目	歯 学 科	顎口腔生体科学 顎口腔環境科学 顎口腔再生医療科学



歯 学 部



臨床実習風景

## 薬学部

薬学部は、百十余年の伝統を持ち、「ヒトの健康を目指して」を理念として掲げ、化学物質の合成、遺伝子組換え法等を用いて、有効で副作用の少ない安全な薬の研究・開発を目指しています。

一方、環境衛生等に従事する者や医薬品の製造販売・服薬指導等に携わる薬剤師の育成も薬学部の重要な役割の一つです。そのため、臨床薬学教育や医薬品情報解析教育も積極的に取り入れています。

平成14年度には、薬学・医学・歯学の各大学院を再編統合して、大学院医歯薬学総合研究科が設置され、これを機に複数の研究室によるプロジェクト研究等が活発に行われています。

薬学部においても、より高度な教育・研究体制の整備拡充、幅広い視野をもつ薬学研究者の育成に意欲的に取り組んでいます。

### 学部・学科・学科目

学部	学科	学科目
<b>薬学部</b> 1 学科 2 学科目	薬 科 学 科	薬物創製科学 薬物作用解析学



薬 学 部



実 験 風 景

## 工学部

工学部は、昭和41年4月に設置され、現在は機械システム工学科、電気電子工学科、情報システム工学科、構造工学科、社会開発工学科、材料工学科及び応用化学科の7学科で構成されています。

本学部では、アジアの鼓動響く街長崎で、知と心と工学センスを育み、未来を拓く科学技術を創造することによって、社会の持続的発展に貢献することを理念とし、広範な基本的教養及び専門の基盤となる幅広い知識、工学に関する専門的知識を修得させるための基礎的教育を行い、課題探求能力、コミュニケーション能力、技術者倫理観を身につけた、国際的にも通用する工学技術者人材の育成を行っています。

### 学部・学科・講座

学 部	学 科	講 座
工学部 7学科 18講座	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	設計システム学 生産システム学 エネルギーシステム学
	電 気 電 子 工 学 科	電気エネルギー基礎学 制御システム学 電子回路デバイス学 通信工学
	情 報 シ ス テ ム 工 学 科	計算機工学 数理・応用ソフトウェア工学 情報応用システム学
	構 造 工 学 科	構造解析学 構造システム学
	社 会 開 発 工 学 科	社会基盤工学 環境開発工学
	材 料 工 学 科	材料物性・機能工学 材料開発工学
	応 用 化 学 科	機能分子工学 生物分子工学



工 学 部



福祉機器の研究開発

## 環境科学部

環境科学部は、「環境の世紀」と称される21世紀の時代の要請に応じて設立された、国立大学で最初の文理融合型の環境科学部であり、身近なレベルから地球レベルに至るまで深刻化している環境問題を克服し地球環境の保全と人間社会の持続的発展に貢献する環境科学の教育研究を行っています。学生の所属する教育コースは環境政策及び環境保全設計の2コースがあり、環境政策コースでは、環境共生的な人間社会の持続的な発展を可能にする、社会経済システム、政策と法制度、文化と思想に関して、また環境保全設計コースでは、物質循環及び自然環境の構造と相互作用、自然環境の保全と環境に配慮した都市開発や環境設計、環境にやさしい技術や製品の開発に関して学び、未来志向の問題解決型環境スペシャリストの育成を目指しています。

### 学部・学科・講座

学部	学科	講座
<b>環境科学部</b> 1 学科 4 講座	環 境 科 学 科	環境政策 文化環境 環境設計 自然環境保全



環境科学部



実験風景

## 水産学部

水産学部は、海洋を中心とした水圏の環境や生物資源とその利用に関する体系的な教育・研究を通して、21世紀における人類の生存と福祉に貢献できる優秀な人材を養成し、広く地域や国際社会に送り出すことを目標にかけています。昭和24年の設立当初の教育・研究は、戦後の食糧難という社会情勢を反映した実践的な色彩の強いものでしたが、現在は海洋の生産性の向上と海洋環境・生物の保全、生物生産の有効利用を包含した幅広い分野を対象としています。

本学部は、常に社会の要請に応えた組織や教育・研究体制の改革を行い、国内外における水産・海洋科学の推進に中心的な役割を担う拠点として活動しています。

### 学部・学科・講座

学部	学科	講座
<b>水産学部</b> 1 学科 4 講座	水 産 学 科	海洋生産システム学 海洋資源動態科学 海洋生物機能科学 海洋物質科学



水産学部



乗船実習風景

## 教育学研究科

教育学研究科は、平成6年度に2専攻5専修が開設され、平成12年度には全ての教科の専修が揃った2専攻10専修の研究科になりました。学部比べ歴史は新しいですが、教育実践力をさらに伸ばしたいという学部卒業生及び現職教員を受け入れ、教育実践に関する講義はもちろんのこと現代的な教育課題の解決に必要な諸能力育成に貢献する演習や実習を含んだカリキュラムを用意し、将来の地域の教育界の指導者を育成しています。

各専攻・専修では、教科の知識・技能の修得だけではなく、それぞれの教育実践に欠かすことのできない能力が確実に身に付くよう講義等に工夫を凝らしています。特に、「実践授業研究」では、大学教員や附属校・園の教員とともに新しい授業を作り出す楽しみが追求できるようになっています。

### 研究科・課程・専攻

研究科	課程	専攻
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻 教科教育専攻



声楽の演習風景

## 経済学研究科

経済学研究科は、経済学部を母体として平成7年度に修士課程（博士後期課程の設置に伴い、平成16年度4月より博士前期課程と改称）が設置され、経済学と経営学を統合した経済経営政策専攻という1専攻に「研究コース」と「経営学修士コース（MBAコース）」を置き、「高度専門職業人の養成」を教育理念として基礎的知識、専門的知識、実践的問題解決能力及び研究能力の育成のための教育システムが整備されています。

更に、平成16年度に博士後期課程が設置され、経営意思決定専攻において、組織のリーダーやその候補者の社会人を対象として、科学的かつ理論的根拠に裏打ちされた意思決定手法を体系的に教授し、もって研究能力を十分に有する「高度専門職業人」の育成を目指して、幅広い総合的研究指導体制で臨んでいます。

### 研究科・課程・専攻

研究科	課程	専攻
経済学研究科	博士課程（前期）	経済経営政策専攻
	博士課程（後期）	経営意思決定専攻



総合研究棟

## 生産科学研究科

生産科学研究科は、昭和63年に工学部と水産学部を母体として海洋生産科学研究科（後期3年博士課程）として発足し、平成12年には両学部の修士課程を取り込んだ区分制の博士前期・後期課程をもつ大学院へと発展しました。更に、平成16年度からは新しく博士前期課程に環境科学研究科（修士課程）を取り込み、また、博士後期課程に環境科学の1専攻を新設し、3学部（工学部、環境科学部、水産学部）を母体とした大学院に改組しました。博士前期・後期課程は3学部が緊密に連携し、かつ一体となってそれぞれの専門領域の知識の修得に当たっており、高度な専門性を持つ専門家を養成することを目的として、科学技術分野の発展に対応した教育・研究が行える研究科へと意欲的に取り組んでいます。

### 研究科・課程・専攻

研究科	課程	専攻
生産科学研究科	博士課程 (前期)	機械システム工学専攻 電気情報工学専攻 環境システム工学専攻 物質工学専攻 水産学専攻 環境共生政策学専攻 環境保全設計学専攻
	博士課程 (後期)	システム科学専攻 海洋生産科学専攻 物質科学専攻 環境科学専攻



総合教育研究棟

## 医歯薬学総合研究科

大学院医歯薬学総合研究科は、平成14年4月1日に設置されました。本研究科は、今までの医学研究科、歯学研究科、薬学研究科の3研究科を医療科学、新興感染症病態制御学系、放射線医療科学、生命薬科学の4専攻に再編統合したものです。生命・医療領域において、急速な高度化・専門化が進み、それに対応するべく教育研究の拠点を大学院にシフトし、教育研究内容の学際化と高度化を図ったものです。本研究科は、高度の専門的知識と経験を有し基礎研究・先端医療・創薬・保健行政・国際貢献などの分野で21世紀の生命医療科学を中心的に担うことのできる研究者・教育者および高度専門職業人を育成するとともに、生命・医療領域の教育研究において国際的拠点となることが一つの目標であります。

### 研究科・課程・専攻

研究科	課程	専攻
医歯薬学 総合研究科	博士課程	医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻
	博士課程 (前期・後期)	生命薬科学専攻



研究報告会

## 3

## 役員・職員・学生数等



## 役員・職員数

平成16年5月1日現在  
(人)

部 局	区 分			役 員						教 育 職 員		その他 職 員	合 計
	学長	理事	監事	学長補佐	教 授	助教授	講 師	助 手	教 諭	計			
事 務 局	1	(1)5	(1)1	[ 7 ]						[ 7 ]	201	(2) 7 208	
保 健 管 理 セ ン タ ー					1	2				3		3	
先 導 生 命 科 学 研 究 支 援 セ ン タ ー					2	2		1		5		5	
総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー						1		2		3		3	
地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー						1				1		1	
生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー						1				1		1	
留 学 生 セ ン タ ー					2	2	1			5		5	
機 器 分 析 セ ン タ ー						1				1		1	
大 学 教 育 機 能 開 発 セ ン タ ー					4	2	5	1		12		12	
ア ド ミ ッ シ ョ ン セ ン タ ー					1		1			2		2	
環 境 保 全 セ ン タ ー								1		1		1	
教 育 学 部					53	29	5			87	16	103	
附 属 教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー					2					2		2	
附 属 小 学 校									28	28	4	32	
附 属 中 学 校									27	27	2	29	
附 属 養 護 学 校									27	27	2	29	
附 属 幼 稚 園									7	7	1	8	
経 済 学 部					37	28	3			68	17	85	
医 学 部					21	8	6	15		50		50	
医 学 部 ・ 歯 学 部 附 属 病 院					1	13	56	85		155	661	816	
工 学 部					35	28	4	30		97	64	161	
環 境 科 学 部					29	20		1		50	10	60	
水 産 学 部					20	11	2	1		34	13	47	
附 属 練 習 船 鶴 洋 丸					1	2		2		5	14	19	
附 属 練 習 船 長 崎 丸					1	2		3		6	15	21	
附 属 海 洋 資 源 教 育 研 究 セ ン タ ー					2	1				3		3	
熱 帯 医 学 研 究 所					10	3	5	17		35	9	44	
附 属 熱 帯 性 病 原 体 感 染 動 物 実 験 施 設								1		1		1	
附 属 熱 帯 感 染 症 研 究 セ ン タ ー					2			1		3		3	
生 産 科 学 研 究 科					11	11		11		33		33	
医 歯 薬 学 総 合 研 究 科					65	56	31	117		269	88	357	
附 属 原 爆 後 障 害 医 療 研 究 施 設					8	6	2	15		31	4	35	
附 属 薬 用 植 物 園						1		1		2	1	3	
計	1	(1)5	(1)1	[ 7 ]	308	231	121	305	89	[ 7 ] 054	1,122	(2) 7 2,183	

理事(1),監事(1)は、非常勤役員で外数。学長補佐[ 7 ]は、教育職員の兼務で内数。

# 学生数

平成16年5月1日現在  
(人)

## 学 部

区分	学科・課程	入学定員	編入学定員	収容定員	現 員						計
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
教育学部	小学校教員養成課程	—	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	中学校教員養成課程	—	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	学校教育教員養成課程	180	-	720	201	199	191	204	-	-	795
	情報文化教育課程	60	-	240	66	61	57	75	-	-	259
	計	240	-	960	267	260	248	281	-	-	1,056
経済学部	経営学科	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	ファイナンス学科	-	-	-	-	-	-	4	-	-	4
	総合 昼間コース	355	-	1,420	385	374	372	523	-	-	1,654
	経済学科 夜間主コース	60	-	240	59	57	64	88	-	-	268
	計	415	15	1,690	444	431	436	616	-	-	1,927
医学部	医学科	95	5	590	103	116	86	114	96	107	622
	保健学科	106	14	332	106	105	120	-	-	-	331
	計	201	19	922	209	221	206	114	96	107	953
歯学部	歯学科	50	5	335	51	52	59	59	69	53	343
薬学部	薬科学科	80	-	320	83	84	80	97	-	-	344
工学部	機械システム工学科	80	-	320	81	82	83	139	-	-	385
	電気情報工学科	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3
	電気電子工学科	80	-	320	89	85	96	124	-	-	394
	情報システム工学科	50	-	200	60	56	50	72	-	-	238
	構造工学科	40	-	160	44	42	47	59	-	-	192
	社会開発工学科	50	-	200	62	53	57	62	-	-	234
	材料工学科	50	-	200	60	53	55	76	-	-	244
	応用化学科	50	-	200	56	53	57	77	-	-	243
	各学科共通	-	20	40	-	-	-	-	-	-	-
計	400	20	1,640	452	424	445	612	-	-	1,933	
環境科学部	環境科学科	140	10	580	152	145	152	189	-	-	638
水産学部	水産学科	110	-	440	117	118	112	142	-	-	489
合 計		1,636	69	6,887	1,775	1,735	1,738	2,110	165	160	7,683

平成16年5月1日現在  
(人)

## 大学院

研究科	修士・博士前期課程				博士・博士後期課程					
	入学定員	1年次	2年次	計	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
教育学研究科	38	35	40	75						
経済学研究科	15	20	25	45	3	4				4
医学研究科					-				165	165
歯学研究科					-			5	22	27
薬学研究科					-			2		2
環境科学研究科	-		28	28						
海洋生産科学研究科					-			5		5
生産科学研究科	205	274	249	523	48	46	34	47		127
医歯薬学総合研究科	53	68	73	141	135	109	86	108		303
計	311	397	415	812	186	159	120	167	187	633

平成16年5月1日現在  
(人)

## 研究生・科目等履修生

学部等	区分	研究生	科目等履修生	特別聴講学生	特別研究学生
教育学部・教育学研究科		5	8	0	3
経済学部・経済学研究科		6	3	1	1
医学部・医学研究科		26	0	0	0
歯学部・歯学研究科		1	0	0	0
薬学部・薬学研究科		0	0	0	0
工学部		6	3	0	0
環境科学部・環境科学研究科		0	1	0	0
水産学部		2	0	1	0
熱帯医学研究所		0	0	0	0
生産科学研究科		1	0	0	6
医歯薬学総合研究科		22	0	0	7
計		69	15	2	17

上記以外に長崎県における大学間の単位互換履修生（特別聴講生）が14人



役員・職員・学生数等



# 平成16年度入学者状況

学 部 (人)

学 部	区 分	入学定員	入学志願者	入 学 者
教 育 学 部		240	923 2	267
経 済 学 部	昼間コース	355	966 35	371 14
	夜間主コース	60	93	60
医 学 部		201	1,706	201
歯 学 部		50	405 5	50 1
薬 学 部		80	504 3	83
工 学 部		400	1,306 55	438 14
環 境 科 学 部		128 12	404 45	136 16
水 産 学 部		110	715 1	117
計		1,624 12	7,022 146	1,723 45

は外国人留学生で外数

出身高校による入学者（外国人留学生を除く）の地域別区分 (人)

学部	区 分	長 崎 県	九州地区 (長崎県を除く)	中国 四国地区	近畿地区	中部地区	関東地区	東 北 地区 北海道	外 国 検 等	計
教 育 学 部		143	97	20	4	1	2	0	0	267
経 済 学 部		200	202	18	5	0	3	1	2	431
医 学 部		75	93	8	9	5	11	0	0	201
歯 学 部		8	21	7	4	1	6	3	0	50
薬 学 部		17	44	12	4	3	2	1	0	83
工 学 部		179	210	25	9	8	1	3	3	438
環 境 科 学 部		50	71	9	3	2	1	0	0	136
水 産 学 部		28	38	21	10	10	6	3	1	117
計		700	776	120	48	30	32	11	6	1,723



# 大学院

(人)

研究科	区分	入学定員	入学志願者	入学者
教育学研究科		38	43 5	35 4
経済学研究科	前期	15	26 18	13 7
	後期	3	6	4
生産科学研究科	前期	205	307 19	260 14
	後期	48	39 9	39 7
医歯薬学総合研究科	博士	108	89 4	86 4
	博士前期	53	71	65
	博士後期	23	7 1	5
計		493	588 56	507 36

は外国人留学生で外教



キャンパス風景



学生食堂

役員・学生等



# 平成15年度卒業生(修了者)及び進路状況

## 学部卒業生

(人)

学 部	平成15年度	累 計
教 育 学 部	253	14,667
経 済 学 部	昼間コース	317
	夜間主コース	36
医 学 学 部	80	5,044
歯 学 学 部	62	1,238
薬 学 学 部	90	3,553
工 学 学 部	409	10,328
環 境 科 学 部	132	410
水 産 学 部	101	4,593
合 計	1,480	51,971

## 専攻科修了者

(人)

専 攻 科	平成15年度	累 計
水 産 専 攻 科	4	339

## 大学院修了者

平成16年3月31日現在

(人)

大 学 院	平成15年度	累 計
教 育 学 研 究 科	43	299
経 済 学 研 究 科	12	95
医 学 研 究 科	55	1,156
歯 学 研 究 科	15	128
薬 学 研 究 科	19	923
工 学 研 究 科	0	1,758
水 産 学 研 究 科	0	616
環 境 科 学 研 究 科	20	20
海 洋 生 産 科 学 研 究 科	1	242
生 産 科 学 研 究 科	218	652
医 歯 薬 学 総 合 研 究 科	40	40
合 計	423	5,929

## 進路状況

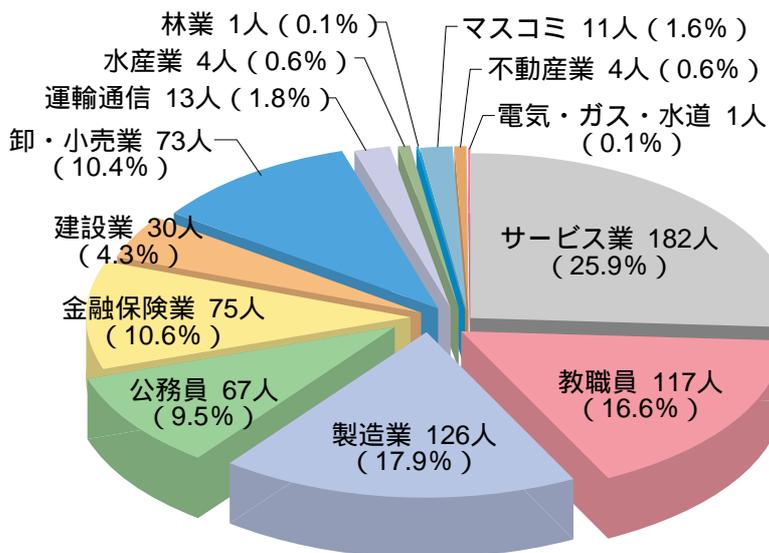
(人)

進 路		教育学部	経済学部	薬学部	工学部	環境科学部	水産学部	合 計
卒 業 者 数		253	317	90	409	127	101	1,297
就 職	就 職 希 望 者 数	205	266	44	167	69	60	811
	就 職 者 数	189	224	31	143	68	49	704
	就 職 率	92.2	84.2	70.5	85.6	98.6	81.7	86.8
	農 業							
	林 業					1		1
	水 産 業						4	4
	鉱 業							
	建 設 業		10		20			30
	製 造 業	8	36	2	61	8	11	126
	卸・小売業	8	40		2	14	9	73
	金融保険業	8	63			3	1	75
	電気・ガス・水道				1			1
	不 動 産 業		3				1	4
	運 輸 通 信	3	6		2		2	13
	マ ス コ ミ	1	5			2	3	11
	サ ー ビ ス 業	34	44	28	44	24	8	182
教 育	110	3		3		1	117	
公 務 員	17	14	1	10	16	9	67	
進 学 者 数	25	11	44	218	25	32	355	
そ の 他	39	82	15	48	34	20	238	





# 就職者産業別内訳

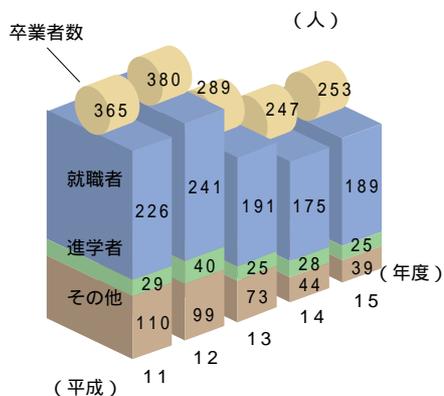


役員・職員・生数等

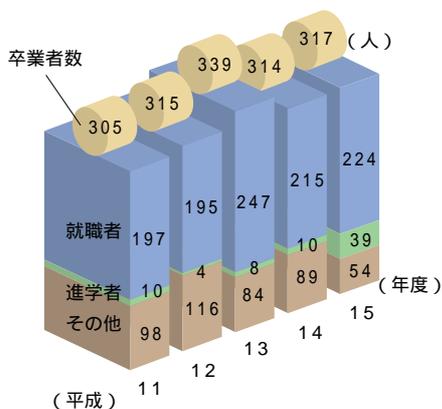


# 過去5年間の進路状況の推移

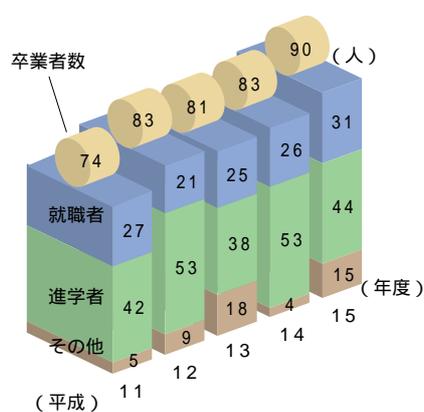
## 教育学部



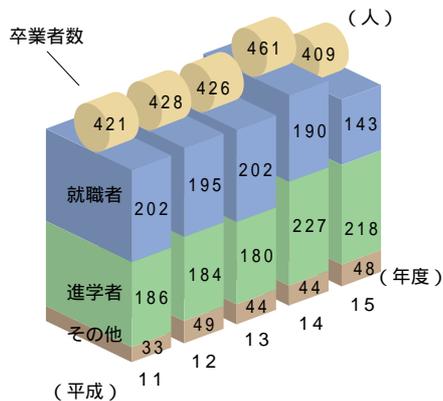
## 経済学部



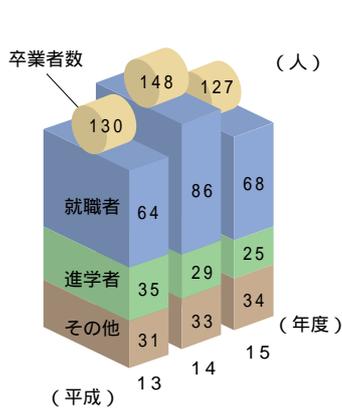
## 薬学部



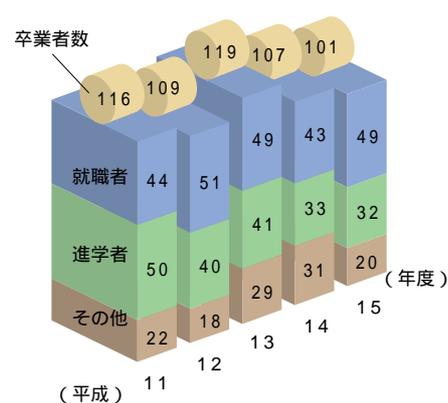
## 工学部



## 環境科学部



## 水産学部





# 学位授与数

平成16年3月31日現在  
(人)

役員職員・学生数等

博士の種類	課程修了		論文		旧制授与数
	平成15年度	累計	平成15年度	累計	
学術	10	115	0	14	
医学	55	1,156	32	1,712	1,347
歯学	15	128	3	72	
薬学	12	62	0	32	
臨床薬学	4	4	0	0	
工学	12	151	1	28	
水産学	2	18	0	8	
合計	110	1,634	36	1,866	1,347

修士の種類	平成15年度	累計
学術	2	14
教育学	43	299
経済学	12	95
薬学	23	829
臨床薬学	20	68
工学	168	2,262
水産学	25	708
環境科学	20	20
合計	313	4,295



# 4

## 研究所等



### 附置研究所



### 熱帯医学研究所

熱帯医学研究所は、熱帯地域で猛威を振るう感染症の研究を総合的に行うため、感染症を病原体の側面から研究する病原体解析部門、ヒト側から研究する宿主病態解析部門、病原体とヒトの間に介在する自然・社会環境面から研究する環境医学部門の3大部門と疾病の疫学・情報を研究する熱帯感染症研究センターの組織を有しています。

熱帯病の研究には疾病が流行する地域での調査研究が不可欠です。このため本研究所は、アジア、アフリカ、中南米の国々の研究機関と密接な連携を保ち、共同研究を続けています。

熱帯病は地理的、社会的、経済的等多様な付帯要因によってその流行像は異なりますので、熱帯病の研究には複数分野横断的研究の必要性が叫ばれています。このような学際的研究を遂行するために共同利用研究組織が活用されています。

研究部門（研究分野）	総合目標
病原体解析 （分子構造解析，病原因子機能解析，感染細胞修飾機構，寄生行動制御，分子疫学）	1．熱帯医学及び国際保健における先導的研究 2．研究成果の応用による熱帯病の防圧並びに健康増進への国際貢献 3．上記に係る研究者と専門家の育成
宿主病態解析 （暑熱順化機構，炎症細胞機構，病変発現機序，感染症予防治療，エイズ・感染防御）	
環境医学 （生物環境，社会環境，疾病生態）	



熱帯医学研究所



タンザニアでの検診風景



# 学内共同教育研究施設

研究所等

名 称	業 務
先 導 生 命 科 学 研 究 支 援 セ ン タ ー	アイソトープ実験施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>放射性同位元素を用いた研究に対する施設の提供及び研究指導並びに助言</li> <li>放射性同位元素の管理</li> <li>放射性同位元素等取扱者に対する講習会</li> <li>学生実習</li> <li>生物の放射線応答に関する研究</li> <li>その他必要な業務</li> </ul>
	動物実験施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>生命資源を用いた動物実験の安全管理</li> <li>動物福祉と倫理面に配慮した適切な実験環境と飼育環境の確保</li> <li>動物実験従事者に対する講習会</li> <li>人獣共通感染症と実験動物固有の感染症に対する診断検査予防技術等の開発</li> <li>その他必要な業務</li> </ul>
	遺伝子実験施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>組換えDNA実験その他の遺伝子実験の安全管理</li> <li>組換えDNA実験その他の遺伝子実験従事者の教育訓練</li> <li>組換えDNA実験その他の遺伝子実験従事者の研究支援</li> <li>遺伝子研究と技術開発</li> <li>その他必要な業務</li> </ul>
総合情報処理センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究のための科学技術計算及びデータ処理</li> <li>情報処理教育における計算機システムの利用</li> <li>学術情報の処理及び提供における計算機システムの利用</li> <li>計算機システム及びネットワークシステムに関する研究、開発等及び利用者に対する技術の指導</li> <li>その他情報処理に関すること</li> </ul>
地域共同研究センター	大学と地域産業社会との共同研究を推進し、地域社会における先端技術の開発・導入の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究・受託研究の推進</li> <li>民間等の技術者に対する先端的技術教育・研修の実施</li> <li>民間等に対する大学のシーズや情報の発信</li> <li>民間等からの科学技術相談への対応</li> <li>民間等や地域社会への研究成果の還元</li> <li>学内、他大学及び海外との共同研究、連携の推進</li> </ul>
生涯学習教育研究センター	生涯学習に関する教育及び研究を行い、大学開放の企画、運営及び生涯学習の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>大学公開講座、公開シンポジウム等の生涯学習講座事業</li> <li>生涯学習のコンテンツ開発、大学公開講座の評価等の研究</li> <li>自治体、各種機関・団体との受託研究・連携事業</li> <li>センター季報、生涯学習叢書の発行等の情報の収集・提供</li> </ul>

名 称	業 務
留学生センター	外国人留学生の日本における修学や生活の円滑化を支援する業務を中心とし、日本人学生対象の留学相談・留学情報提供や地域の留学生交流の拠点としての役割業務等 <ul style="list-style-type: none"> <li>全学の留学生を対象とする日本語集中プログラム</li> <li>全学の留学生を対象とする日本語一般プログラム</li> <li>主として学部留学生を対象とする日本語・日本事情教育</li> <li>留学生に対する修学・生活指導</li> <li>留学生交流に関する活動</li> <li>留学生問題全般への実務上の対処</li> <li>留学生教育交流に関する研究活動</li> <li>留学情報の収集と提供活動</li> <li>短期留学プログラムに関すること</li> </ul>
機器分析センター	学内の大型で精密な各種機器分析装置を集中管理し、機器の有効利用と総合的な研究効率の向上及び機器分析情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>元素分析 —— 化合物中の炭素、水素等元素の組成比の測定</li> <li>物質の構造解析に必要な各種スペクトル —— 紫外吸収、赤外吸収、質量分析、核磁気共鳴、X線解析等 —— の測定</li> <li>タンパク質やペプチドを構成するアミノ酸の分析</li> <li>遺伝子DNAの塩基配列の決定及びDNA断片の化学合成</li> <li>新素材の表面分析</li> </ul>
大学教育機能開発センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学教育及び高等教育全般に関する研究開発及び企画・立案</li> <li>全学教育の実施に関する具体的事項の立案・運営</li> <li>教育・研究の評価方法やFDに関する研究</li> <li>授業評価の確立とFDの企画、運営、実施</li> <li>教育改善の支援</li> </ul>
アドミッションセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学者選抜方法等に係る調査・研究</li> <li>入学者選抜結果の分析及びその評価</li> <li>入学者の学業成績の追跡調査</li> <li>AO入試の実施の企画・立案</li> <li>AO入試に係る学生募集要項、入学案内及び広報誌の作成</li> <li>大学説明会の企画、立案及び実施</li> <li>高等学校等訪問による進学相談</li> </ul>
環境保全センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境汚染物質等の調査・研究</li> <li>環境マネジメントシステム</li> <li>資源及び毒劇物等危険物の管理</li> <li>実験廃液等の収集及び処理</li> </ul>



# 学部等附属教育研究施設

名 称		目 的 等
教育学部	附属教育実践総合センター	教師教育の充実と学部教育の改善，および地域教育界との連携を図るため，以下の業務を行う。1) 教育実地研究・体験実習等の運営・指導・研究，2) 情報教育の指導・研究，3) 大学教員としての専門的能力の開発と指導改善についての研修，4) 現職教員の実践的能力の開発に係る研修，5) いじめ・不登校等，教育上の諸問題についての援助・研究
水産学部	附属練習船鶴洋丸	米国式旋網漁業実習，海洋学実習，航海運用実習 総トン数 1,044.38トン 全長 63.65m 鋼船 2,800馬力 教官，その他の船員 20名 学生収容人員 42名
	附属練習船長崎丸	トロール漁業実習及び延縄漁業実習，海洋学実習，航海運用実習 総トン数 842.00トン 全長 62.87m 鋼船 2,800馬力 教官，その他の船員 21名 学生収容人員 40名
	附属海洋資源教育研究センター	海洋環境の保全並びに海洋生物資源の保護育成及び有効利用について，実験・実習の実践的教育を踏まえて体系的な教育研究を行うこと。
熱帯医学研究所	附属熱帯性病原体感染動物実験施設	熱帯性病原体による感染に関する研究に必要な動物実験を行うこと。
	附属熱帯感染症研究センター	熱帯感染症・寄生虫症に関する資料・情報を収集・整理・保存・解析及び提供するとともに，熱帯感染症・寄生虫症の発生・拡大に関与する複合的要因の解析と予防制圧に資する研究を行うことにより，学術研究の進展に寄与すること。
医歯薬学総合研究科	附属原爆後障害医療研究施設	原爆被爆や放射線被曝事故等による放射線障害発症機構の解明と放射線被曝者の遺伝子レベルでの治療を目的とし，放射線障害者（ヒバクシャ）の国際的調査や医療協力を実施し，加えて原爆後障害医療の情報センターの性格を併せもった総合研究施設。 <u>放射線障害解析部門</u> 病態分子解析研究分野（原研病理） 国際放射線保健部門（原研国際） 放射線応答解析研究分野（原研放射） 資料収集保存部 分子情報制御研究分野（原研生化） 資料調査室（原研情報室） 放射線疫学研究分野（原研疫学） 生体材料保存室（原研試料室） <u>分子医療部門</u> 変異遺伝子解析研究分野（原研遺伝） 分子診断研究分野（原研細胞） 分子治療研究分野（原研内科） 分子設計応用研究分野（原研分子）
	附属薬用植物園	薬用植物を栽培して，学術研究及び教育に資すること。

研究所等

# 5

## 附属施設等

### 附属図書館

長崎大学附属図書館は、中央図書館(文教キャンパス)、医学分館(坂本キャンパス)及び経済学部分館(片淵キャンパス)で構成され、本学の教育と研究及び学習に必要な資料・情報を収集組織し、利用に供し、その発展に寄与する支援基盤として設置されています。

近年は、図書館機能の高度化のため、電子化情報技術を活用して効率的な業務の遂行とデジタル化資料の整備提供(電子ジャーナルの収集受入、貴重資料のデータベース化、ホームページの充実等)、また利用ガイダンスの実施や開館時間の延長により利用者支援活動の充実に取り組んでいます。

蔵書数(平成16年4月1日現在)

(冊)

館名	図書数			雑誌の種類		
	和漢書	洋書	計	和文	欧文	計
中央図書館	388,270	132,208	520,478	10,135	3,120	13,255
医学分館	84,348	82,042	166,390	3,063	3,169	6,232
経済学部分館	174,117	78,642	252,759	2,475	903	3,378
計	646,735	292,892	939,627	15,673	7,192	22,865

利用状況(平成15年度)

館内	区分	教職員	学生	その他	計
中央図書館	入館者数	282,165		2,672	284,837
	貸出冊数	1,517	35,305	141	36,963
医学分館	入館者数	102,985		1,222	104,207
	貸出冊数	1,269	11,620	0	12,889
経済学部分館	入館者数	48,733		505	49,238
	貸出冊数	2,552	5,639	0	8,191
計	入館者数	433,883		4,399	438,282
	貸出冊数	5,338	52,564	141	58,043



附属図書館(中央図書館)



閲覧室での学習風景

## 医学部・歯学部附属病院



医学部・歯学部附属病院

長崎大学医学部・歯学部附属病院は、1861年にオランダ軍医ボンベが開いたわが国最初の西洋式病院である長崎養生所を前身とし、その後140年を経て近代的病院へと発展してきました。今日まで建物は幾多の変遷をみましたが、「医療は患者さまのためである」というボンベの教えは基本精神として脈々と受け継がれています。

長崎大学医学部・歯学部附属病院は、医学部及び歯学部学生の教育・実習並びに卒業臨床研修を行うとともに「特定機能病院」として、あらゆる疾患に対応した高度医療を提供しています。また、地域医療の中核的役割を担うとともに、国際社会に貢献する医療を展開しています。平成15年10月には医学部附属病院と歯学部附属病院を統合し、医学部・歯学部附属病院として医療サービスの充実を図りました。診療体制として、機能別に分かれた32の診療科と25の中央診療施設を有し、入院ベッド数869床から成っています。

現在、病院をあげて医療の質を高める取り組みを進めており、平成15年3月には（財）日本医療機能評価機構の認定証の交付を受けました。

附属施設等

診療科別病床数・患者数

(人)

診療科等名	区分	病床数	入院患者数		外来患者数	
			延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数
第一内科	内科	71	23,530	64.3	28,375	115.3
第二内科	内科	85	26,200	71.6	21,796	88.6
第三内科(循環器科)	内科	40	12,882	35.2	12,452	50.6
精神科	神経科	50	11,553	31.6	16,539	67.2
小児科	科	59	12,665	34.6	16,831	68.4
第一外科	外科	56	19,560	53.4	8,273	33.6
第二外科	外科	56	18,362	50.2	7,321	29.8
整形外科	外科	40	14,762	40.3	15,828	64.3
皮膚科	科	23	7,558	20.7	16,750	68.1
泌尿器科	科	33	10,434	28.5	11,725	47.7
眼科	科	41	12,583	34.4	24,146	98.2
耳鼻咽喉科	科	42	12,852	35.1	16,416	66.7
放射線科	科	16	5,756	15.7	3,584	14.6
産科	婦人科	58	20,774	56.8	12,714	51.7
麻酔科	科	3	327	0.9	3,064	12.5
脳神経外科	科	24	8,988	24.6	5,505	22.4
形成外科	外科	19	6,923	18.9	4,665	19.0
心臓血管外科	外科	17	6,279	17.2	2,837	11.5
原研内科	内科	40	14,003	38.3	6,083	24.7

診療科等名	区分	病床数	入院患者数		外来患者数				
			延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数			
熱研内科		20	6,571	18.0	3,161	12.8			
総合診療科		-	1,254	3.4	5,499	22.4			
国際ヒバクシャ医療センター		-	241	1.1	545	2.2			
共通病床		19	-	-	-	-			
RI治療病室		8	-	-	-	-			
集中治療部		9	-	-	-	-			
総合歯科	歯の病気予防室	40	8,573	23.4	4,848	19.7			
	歯並び・噛み合わせ治療室				7,487	30.4			
	子供の歯治療室				5,964	24.2			
	虫歯・歯周病治療室				31,908	129.7			
	入れ歯・そしゃく治療室				21,818	88.6			
顎・口腔歯科	口・顎の外科室							17,929	72.8
専門歯科	インプラント室							509	2.0
	地域歯科室							80	0.3
	顎関節症室							176	0.7
	歯科材料アレルギー室							582	2.3
	スポーツ歯科室							5	0.0
	審美歯科室							1,369	5.5
	口臭クリニック							69	0.2
	ペインクリニック							208	0.8
	診断管理科				X線検査・診断室				1,921
麻酔・生体管理室					472	1.9			
特殊歯科総合治療部					8,041	32.6			
初期治療部	臨床実習室				2,098	8.5			
	臨床研修室				1,659	6.7			
合計		869	262,630	717.6	351,252	1,427.9			

注：病床数は平成16年5月1日現在，患者数は平成15年度分（外来診療日246日）

# 教育学部附属学校

平成16年5月1日現在  
(人)

## 教育学部附属学校

区分	学級区分	学 年	学級数	学級定員	総定員	現 員	
附属小学校	普通学級	1	3	40	120	108	
		2	3	40	120	103	
		3	4	40	160	123	
		4	3	40	120	120	
		5	3	40	120	122	
		6	3	40	120	122	
	複式学級	1	1	16	16	8	
		2				8	
	計		20		776	714	
附属中学校	普通学級	1	5	40	200	210	
		2	5	40	200	206	
		3	5	40	200	209	
		計		15		600	625
附属養護学校	普通学級 (2学年複式)	小学部	1	1	6	18	1
			2				3
			3	1	6		3
			4				2
			5	1	6		4
			6				3
	普通学級	中学部	1	1	6	18	6
			2	1	6		6
			3	1	6		5
	普通学級	高等部	1	1	8	24	8
			2	1	8		8
			3	1	8		9
	計		9		60	58	
附属幼稚園	3歳児	二年保育	—	—	—	—	
		三年保育	1	20	20	24	
	4歳児	二年保育	2	50	70	41	
		三年保育		20		18	
	5歳児	二年保育	2	50	70	44	
		三年保育		20		19	
		計		5		160	146



小学校



中学校



養護学校



幼稚園

附属施設等

# 6

## 厚生補導施設等

### 保健管理センター

保健管理センターは、昭和41年4月に全国のトップをきって設置され、学生・教職員の疾病予防と健康維持、増進を支援しています。

健康診断や診療だけでなく、身体的及び精神的な悩みの相談、婦人科相談、歯科相談にも応じています。また、自ら自身の状態をチェックするために身長・体重・体脂肪計、自動血圧計、自動視力計などを開放しています。学園生活を通して実りある生活を送るとともに、適切なライフスタイルを確立し、健やかな人生をめざして踏み出すことを願って様々な支援を行っています。

職員(数)	教授(所長)	助教	臨床検査技師	診療放射線技師	看護師	保健師	事務官	計	学校医					主な医療設備													
									内科	皮膚科	産科婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科	レントゲン装置	超音波診断装置	心電計	尿分析器	自動化学分析装置	自動血圧計	体内脂肪計	歯科用ユニット	骨密度測定装置	自動視力計	全自動血圧計	電子スパイロメーター	車椅子
1	2	1	1	1	2	{1}	8		4	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	7	2	1	1	2	3	1	1
備考	保健管理センター(相談日).....毎日																										
	経済学部分室(相談日).....水曜日																										
	坂本分室(相談日).....月曜日・金曜日																										
(注){ }は併任を示し外数																											
( )は事務室長が兼務で外数																											



保健管理センター

### 体育施設

施設名	体育館	弓道場	柔道場	剣道場	武道場	テニスコート	グラウンド	バレーコート	プール	ハンドボールコート	備考
文教地区	2	1	1	1		9	1	2	1	1	・柔道場、剣道場及び武道場は各地区の体育館内 ・ハンドボールコートはテニスコートと兼用
片淵地区	1	1			1	6	1				
坂本地区	1	1			1	2	1				
計	4	3	1	1	2	17	3	2	1	1	

その他主たる施設

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
臨海研修所	学生支援部	西彼杵郡時津町子々川郷	宿 泊 施 設 食 堂 ポ ー ト	学生の課外活動 教職員研修会 レクリエーション	長 崎 大 学
課外活動 共用施設	"	文教町1-14 長崎大学文教地区構内	共用室・研修室 ミーティングルーム	学生の課外活動 宿 泊 施 設	長 崎 大 学
学生会館	"	"	共用談話室・集会室 和室・茶室 多目的室 食堂・喫茶 売 店 理・美容室	学生の課外活動 食 品 販 売 食 堂 ・ 喫 茶 書 籍 ・ 日 用 品 販 売 調 髪 ・ 美 容	長 崎 大 学 長崎大学生生活協同組合 業 者
学生プラザ	"	"	多目的ホール1 多目的ホール2	学生の課外活動	長 崎 大 学
課外活動 共用施設	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談話室・共用室 共用会議室 音楽練習室 レコード鑑賞室 制作室・暗室 研 修 室	学生の課外活動 宿 泊 施 設	長 崎 大 学
坂本1団地地区 課外活動共用施設	医学部	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	共 用 室 音 楽 練 習 室 室 外 器 具 庫	学生の課外活動	長 崎 大 学
坂本2団地地区 課外活動共用施設	医療技術 短期 大学部	坂本1丁目7-1 長崎大学医療技術短期 大学部構内	共用室・談話室 共有会議室 器 具 庫	学生の課外活動	長 崎 大 学
扶揺会館	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談話室・和室 集会室・食堂 売 店	学生の課外活動 喫 茶 書 籍 ・ 食 堂 ・ 日 用 品 販 売	長 崎 大 学 長崎大学生生活協同組合
福利厚生施設	医学部	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	談 話 室 食 堂 ・ 売 店	食 堂 書 籍 ・ 食 品 ・ 日 用 品 販 売	長 崎 大 学 長崎大学生生活協同組合
"	歯学部	坂本1丁目7-1 長崎大学歯学部構内	談話室・和室 軽 食 室	学生の課外活動 食 堂 ・ 喫 茶 書 籍 ・ 日 用 品 販 売	長 崎 大 学 長崎大学生生活協同組合
"	医療技術 短期 大学部	坂本1丁目7-1 長崎大学附属病院構内	食 堂 売 店	食 堂 日 用 品 販 売	長崎大学生生活協同組合

厚生補導施設等



臨海研修所

# 7

# 国際交流



## 平成16年度外国人留学生

平成16年4月1日現在  
(人)

### 部局別内訳

学部等	区分				学部等	区分			
	学部学生	大学院生	研究生等	計		学部学生	大学院生	研究生等	計
教育学部	2(2)	5(3)②	8(5)④	15(10)⑥	環境科学部	4(16)	8(5)①	1(1)①	58(22)②
経済学部	31(14)①	9(5)	10(5)④	50(24)⑤	水産学部	1		2(1)	3(1)
医学部	1(1)①	9(4)⑤		10(5)⑥	生産科学研究科		4(18)⑨	6(5)	48(23)⑨
歯学部	4(3)			4(3)	医歯薬学総合研究科		3(10)⑦		32(10)⑦
薬学部	1(1)	1		2(1)	留学生センター			7(1)⑦	7(1)⑦
工学部	39(7)⑤		4	43(7)⑤	計	128(44)⑦	106(45)④	38(18)⑥	272(107)⑦

( )は女子を内数で示す。  
①は国費留学生を内数で示す。

### 国別内訳

(人)

国名	区分				国名	区分			
	学部学生	大学院生	研究生等	計		学部学生	大学院生	研究生等	計
アフガニスタン			1 ①	1 ①	パキスタン		1 ①		1 ①
ベラルーシ		1 ①	1 ①	2 ②	パナマ		1		1
ポリビア		2(1)①		2(1)①	フィリピン		4(3)④	1(1)①	5(4)⑤
ブラジル			1(1)①	1(1)①	ロシア		1 ①	1 ①	2 ②
カンボジア		1 ①		1 ①	スペイン		1 ①		1 ①
中国	10(38)①	55(25)⑧	13(8)	17(71)⑨	スリランカ		1(1)		1(1)
中国(台湾)	1(1)			1(1)	シリア			1 ①	1 ①
コンゴ		1 ①		1 ①	タンザニア		1 ①		1 ①
コスタリカ		1(1)		1(1)	タイ		5(5)③	3(3)②	8(8)⑤
エルサルバドル			1 ①	1 ①	トルコ		1 ①		1 ①
ガーナ		1(1)①		1(1)①	ウクライナ		2(1)②	1(1)①	3(2)③
グアテマラ		1(1)①		1(1)①	ベトナム		3(1)③	2 ②	5(1)⑤
インドネシア		4(2)④	4(1)③	8(3)⑦	計	128(44)⑦	106(45)④	38(18)⑥	272(107)⑦
ヨルダン		1 ①		1 ①					
ケニア		1		1					
韓国	11(3)⑤	5(1)	7(3)	23(7)⑤					
ラオス	1	1		2					
レバノン		1 ①		1 ①					
マダガスカル		1		1					
マレーシア	7(2)①	3 ③		10(2)④					
モンゴル		2(2)①		2(2)①					
ミャンマー		1 ①		1 ①					
ネパール		2 ②		2 ②					
ナイジェリア			1 ①	1 ①					

( )は女子を内数で示す。 ①は国費留学生を内数で示す。  
国名はアルファベット順



国際交流会館



# 外国の大学等との学術交流協定締結状況

(平成16年5月1日現在)

	相手国	相手機関	交流内容	締結年月日	締結主管部局
1	中 国	中山医科大学	人物交流, 学術情報交換, 医学教育交流, 共同研究	昭和60年(1985.8.1)	医学部
2		福建省衛生防疫所	人物交流, 共同研究, 学術情報交換	平成元年(1989.8.23)	医学部
3		復旦大学薬学院	学術情報交換, 教官・大学院学生交流, 共同研究	平成元年(1989.10.4)	薬学部
4		福州大学	学術情報交換, 教職員・学生交流, 共同研究, 講演, シンポジウム	平成4年(1992.3.4)	(工学)
5		中国海洋大学	研究者交流, 学生交流, 共同研究, シンポジウム, 学術情報交換	平成9年(1997.1.20)	(水産)
6		中国薬科大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成10年(1998.10.30)	(薬学)
7		武漢理工大学	学術情報交換, 教職員・学生交流, 共同研究, シンポジウム	平成13年(2001.1.11)	(工学)
8		福建医科大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成13年(2001.8.6)	(医学)
9		同济大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成13年(2001.11.12)	(工学)
10		国立陽明大学(台湾)	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.6.21)	(医学)
11		大連水産学院	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.1.17)	(水産)
12		上海第二医科大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.3.10)	(歯学)
13		第四軍医大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.3.26)	(歯学)
14		四川大学化学学院	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成16年(2004.3.10)	医歯薬
15	韓 国	済州大校	教職員・学生交流, 共同研究, シンポジウム, 学術情報交換	平成3年(1991.2.5)	(工学・水産)
16		慶北大校芸術大学	学術情報交換, 教官・学生交流, 作品展, 演奏会, シンポジウム	平成3年(1991.10.17)	教育学部
17		啓明大学医学部	教官・研究者交流, 学術情報交換, セミナー	平成3年(1991.11.18)	医学部
18		嶺南大校工科大学	教官等交流, 学生交流, 共同研究, セミナー・シンポジウム, 学術情報交換	平成5年(1993.2.28)	工学部
19		釜慶大校	学術情報交換, 教官・学生交流, 共同研究, 練習船相互訪問	平成9年(1997.1.29)	(水産)
20		江原大校	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.4.4)	(工学)
21		晋州保健大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.9.11)	(医学)
22		昌原大校	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.10.24)	(教育)
23		麗水大校	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.12.20)	(水産)
24		仁荷大校	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.7.4)	(水産)
25		漢陽大校	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.10.10)	(教育)
26	延世大校	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.11.18)	(教育)	
27	韓国海洋研究院	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成16年(2004.2.11)	(水産)	
28	タ イ	チェンマイ大学	学術情報交換, 教職員・学生交流, 共同研究, 講演, シンポジウム	平成2年(1990.9.5)	(経済・熱研)
29		チュロンコン大学薬学部	学生交流, 教官・研究者交流, 共同研究, 学術情報交換	平成11年(1999.3.26)	薬学部
30		マヒドン大学	研究者・学生交流, 共同研究, 教育プログラム, 学術情報交換	平成11年(1999.11.1)	(熱研)

国際交流

(平成16年5月1日現在)

	相手国	相手機関	交流内容	締結年月日	締結主管部局
31		サムラトランギ大学	学術情報交換, 教職員・学生交流, 共同研究, 講演, シンポジウム	平成5年(1993.4.19)	(水産)
32	インドネシア	トリサクティ大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.10.11)	(歯学)
33		アイルランガ大学	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成16年(2004.1.20)	(熱研)
34	シンガポール	シンガポ・ル国立大学医学部	学術情報交換, 管理者・教官・学生交流, 共同研究, 講演, シンポジウム	昭和62年(1987.6.15)	医学部
35	マレーシア	マレーシア科学大学	学生交流, 教職員交流, 学術情報交換, 共同研究	平成7年(1995.5.15)	(水産)
36	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	研究者・学生交流, 共同研究, セミナー・シンポジウム, 学術情報交換, 教育交流	平成13年(2001.4.10)	(熱研)
37		セントルークス医療センター	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成16年(2004.2.17)	(熱研)
38	ベトナム	国立衛生疫学研究所	教職員・研究者・学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成13年(2001.6.25)	(熱研)
39		ハワイ大学教育学部	学生派遣	昭和60年(1985.12.19)	教育学部
40		サウス・カロライナ大学	共同研究, 教官交流, 学術情報交換, 学生交流	平成4年(1992.1.21)	(水産)
41	アメリカ	ミシガン州立大学人間医学部	教育研究資料・刊行物・学術情報交換, 教員・研究者交流, 学生交流, 共同研究・合同会議	平成14年(2002.3.6)	(薬学)
42		アリゾナ大学	教員・研究者・技術専門職交換, 共同研究, 交換留学生, 学術情報・関連出版物交換	平成14年(2002.8.27)	(環境)
43		メリーランド大学バルチモア校	教員・研究者交流, 学生交流, 教育研究資料・刊行物・学術情報の交換, 共同研究, 合同会議	平成15年(2003.10.10)	(医歯薬)
44		ラクイラ大学工学部	研究者交流, 学生交流, 共同研究, シンポジウム, 学術情報交換	平成9年(1997.5.5)	工学部
45	イタリア	トリノ工科大学	研究者交流, 学生交流, 共同研究, シンポジウム, 学術情報交換	平成9年(1997.8.1)	(工学)
46		ナポリ大学フェデリコII	教官・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義, セミナー・シンポジウム, 学術情報交換	平成10年(1998.5.4)	(工学)
47	イギリス	シェフィールドハラム大学シェフィールドビジネススクール	共同研究, 教官等交流, 学術情報交換, 学生交流	平成8年(1996.12.16)	経済学部
48		ユニバーシティカレッジ・ロンドン	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報交換	平成13年(2001.3.14)	(薬学)
49		グレイ癌研究所	教育研究資料・刊行物・学術情報交換, 教員・研究者交流, 学生交流, 共同研究・合同会議	平成15年(2003.2.26)	(医歯薬)
50		南西ウェールズがん研究所	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報交換	平成16年(2004.3.8)	(医歯薬)
51	ドイツ	ピュルツブルク大学医学部	教授・研究者交流, 学生交流, 研究・教育の合同計画, 学術情報交換	平成8年(1996.9.26)	医学部
52	オランダ	ライデン大学	教官・研究者交流, 学生交流, 研究・教育の合同計画, 学術情報交換	平成10年(1998.9.2)	(医学)
53	ヨルダン	ヨルダン大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報交換	平成15年(2003.3.12)	(薬学)
54	ベラルーシ	ベラルーシ医科大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成13年(2001.7.30)	(医学)
55		ゴメリ医科大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.1.31)	(医学)
56	カザフスタン	セミパラチンスク医科大学	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成10年(1998.3.4)	(医学)
57		放射線医学環境研究所	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.12.18)	(医学)
58	ウクライナ	ウクライナ医学アカデミー内分泌代謝研究所	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.2.21)	(医学)
59		ウクライナ医学アカデミー放射線医学研究所	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.2.21)	(医学)
60	ロシア	オブニンスク放射線医学研究所	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.7.5)	(医学)
61		アルタイ医科大学	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.8.29)	(医学)
62	ケニア	ケニヤッタ大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報交換	平成16年(2004.3.29)	(医歯薬)

来訪者及び渡航者数

(人)

	区分(経費負担別)	平成13年度	平成14年度	平成15年度
I 教官の海外渡航者数	文部科学省事業	59	56	62
	日本学術振興会	26	22	28
	科学技術振興機構	5	36	19
	科学研究費補助金	137	179	243
	科学技術振興調整費		4	1
	国際協力機構	21	12	27
	その他政府関係機関	18	14	42
	その他の国内資金	217	259	310
	外国政府・研究機関等	37	25	48
	私費	150	173	142
	合計	670	780	922
II 外国人研究者等受入者数	文部科学省事業	34	29	29
	日本学術振興会	40	33	31
	科学技術振興機構	2		2
	科学研究費補助金	6	8	13
	国際協力機構	56	17	14
	その他政府関係機関	5		4
	その他の国内資金	34	43	19
	外国政府・研究機関等	32	40	7
	私費	46	44	34
	合計	255	214	153
III 外国人来訪者数	表敬訪問等	110	188	193

国際交流

国別来訪者数及び渡航者数

(平成15年度)

(人)

	南北アメリカ		ヨーロッパ					CIS		アジア		大洋州										合計									
	米 国	カナ ダ	EU諸国					ソ ロ シ ア	ソ の 他	フ リ カ	オ ス ト ラ リ ア	ソ の 他	中 東	中 国	韓 国	ASEAN諸国					イ ン ド		バ ン グ ラ デ シ ユ	そ の 他							
			イ ギ リ ス	フ ラ ン ス	ド イ ッ チ	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ									そ の 他	タ イ	イ ン ド ネ シ ア	シン ガ ポ ール	ベ ト ナ ム					ミ ヤ ン マ ー	カン ボ ジ ア	ラ オ ス				
来訪者	11	3	5	8	2	4	1	4	7	2	4	11	11	3	1	18	15	1	1	6	6	16				4	7	2	153 (他表敬訪問等193)		
渡航者	207	16	17	31	32	40	15	11	73	5	8	28	27	15	9	2	52	115	27	10	55	25	4	29	4	4	12	1	10	38	922

# 8

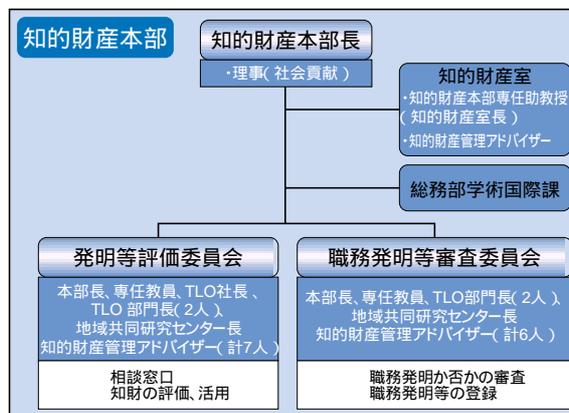
## 社会貢献



### 知的財産本部

知的財産本部は、本学における発明等の研究成果の評価及び管理を行うとともに、これらの研究成果を本学の知的財産として組織的に保護育成及び活用することにより、社会の発展に寄与することを目的として平成16年4月1日に設置されました。

長崎大学の知的財産の創出・取得・管理・活用を総合的、戦略的に実施するとともに、社会と長崎大学を結ぶ窓口として産学官連携活動をより一層推進していきます。



### 産学連携

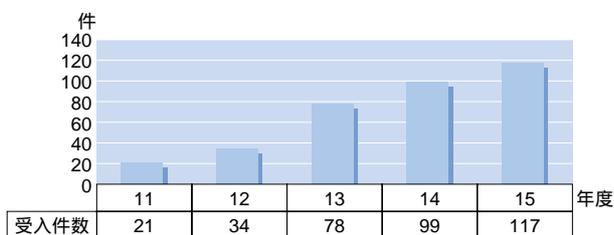
#### 共同研究

年 度	共 同 研 究 区 分 (件)			
	A	B	C	計
平成10年度以前	41	85	47	173
平成11年度	8	10	3	21
平成12年度	9	22	3	34
平成13年度	13	60	5	78
平成14年度	12	83	4	99
平成15年度	9	100	8	117
計	92	360	70	522

(注) 研究区分A：民間企業等から共同研究者と研究経費又は研究経費のみを受け入れると共に、大学も研究経費の一部を負担するもの。  
 研究区分B：民間企業等から共同研究者と研究経費又は研究経費のみを受け入れるもの。  
 研究区分C：民間企業等から共同研究者のみ受け入れるもの。

#### 共同研究受入実績(5ヶ年)

共同研究受入件数

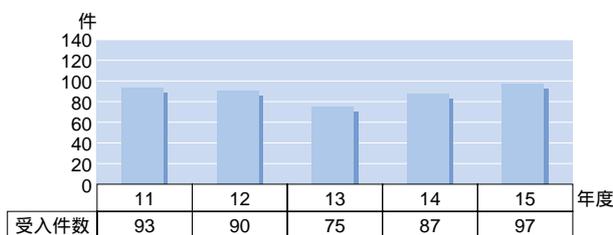


共同研究受入金額

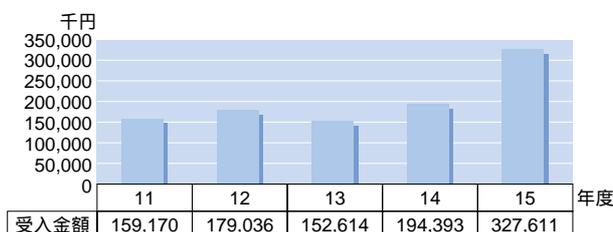


#### 受託研究受入実績(5ヶ年)

受託研究受入件数



受託研究受入金額



# 9 財 政

## 平成15年度歳入歳出決算額

(歳 入)

科 目	決算額(円)
附属病院収入	14,099,156,568
授業料及び入学検定料	5,009,795,800
学校財産処分収入	10,900,000
産学連携等研究収入	877,645,180
雑収入	923,114,621
計	20,920,612,169

(歳 出)

科 目	決算額(円)
国立学校	17,794,145,046
大学附属病院	15,091,696,591
研究所	660,060,871
産学連携等研究費	833,731,061
施設整備費	3,808,978,500
船舶建造費	640,567,000
計	38,829,179,069

## 平成16年度予算額

(収 入)

事 項	金額(百万円)
運営費交付金	17,300
施設整備費補助金	326
船舶建造費補助金	668
施設整備資金貸付金償還時補助金	13
自己収入	19,336
授業料及入学検定料収入	5,093
附属病院収入	14,130
雑収入	113
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,654
長期借入金収入	1,148
計	40,445

(支 出)

事 項	金額(百万円)
業務費	34,924
教育研究経費	19,297
診療経費	13,343
一般管理費	2,284
施設整備費	1,474
船舶建造費	668
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,654
長期借入金償還金	1,725
計	40,445

## 外部資金等

### 科学研究費補助金

(平成16年度)

研究種目	内定件数	配分予定額(千円)
特定領域研究(1)	2	8,200
特定領域研究(2)	22	111,200
基盤研究(S)	5	79,900
基盤研究(A)(1)	1	24,000
基盤研究(A)(2)	4	36,700
基盤研究(B)(1)	6	20,500
基盤研究(B)(2)	74	315,700
基盤研究(C)(1)	6	12,000
基盤研究(C)(2)	152	218,700
萌芽研究	35	57,200
若手研究(A)	3	22,200
若手研究(B)	89	118,500
合 計	399	1,024,800

### 奨学寄附金

(平成15年度)

件数	金額(千円)
1,638	833,511

### 受託研究経費

(平成15年度)

件数	金額(千円)
97	327,611

### 民間等との共同研究

(平成15年度)

件数	金額(千円)
117	150,460

平成16年5月現在

# 10

# 公開講座

公開講座実施状況（平成6年度～平成16年度）

（件）

開設部局	年度	平成6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
教 育 学 部		4	4	4	3	3	2	2	2	4	4	2
経 済 学 部		1	2	3	4	4	4	4	3	2	3	4
医 学 部		1	2							1	1	1
歯 学 部		1	1	2	1	2	2	1	2	1	1	
薬 学 部		1	1		1	1	1	2	1	1	1	
工 学 部		1	2	1	2	2	1	2	1	1	2	2
環 境 科 学 部		-	-	-		2	1	1	1	1	3	1
水 産 学 部		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
教 養 部		2			1	-	-	-	-			
熱帯医学研究所		1	1			1	1	1	1			
医歯薬学総合研究科												2
附属図書館			1		1							1
医学部附属病院							1	1	1	1	1	
商科短期大学部		1	1					-	-			
医療技術短期大学部		6	5	4	2	1	1	1	1			
保健管理センター												
総合情報処理センター					1	1	1	1	2	1	2	1
生涯学習教育研究センター		5	2	1	1	4	3	5	3	2	2	1
開設講座数合計		25	23	16	18	22	19	22	19	16	21	16
受講者数合計		1,057	930	772	853	721	830	771	717	377	510	



公開講座風景

## 11

## 併設短期大学



## 医療技術短期大学部

## 学部・学科

学 部	学 科
医療技術短期大学部	看護学科
	理学療法学科
	作業療法学科

## 専攻科

区 分	専 攻	修 業 年 限
医療技術短期大学部	助産学特別専攻	1 年

## 学 生 数

平成16年5月1日現在  
(人)

区 分	学 科	収容定員	現 員			計
			1 年 次	2 年 次	3 年 次	
医療技術短期大学部	看護学科	80	0	0	3	3
	理学療法学科	20	0	0	1	1
	作業療法学科	20	0	0	0	0
	計	120	0	0	4	4

## 専攻科

(人)

区 分	専 攻 科	入 学 定 員	現 員	修 業 年 限
医療技術短期大学部	助産学特別専攻	20	20	1 年

## 研究生・科目等履修生

(人)

区 分	研 究 生	科 目 等 履 修 生
医療技術短期大学部	0	0

## 平成16年度入学状況

学 部 (平成14年度から学生募集停止)

## 専攻科

(人)

区 分	専 攻 科	入 学 定 員	入 学 志 願 者	入 学 者
医療技術短期大学部	助産学特別専攻	20	106	20

## 平成15年度卒業生(修了者)及び進路状況

## 学部卒業生

(人)

学 部	平成15年度	累 計
医療技術短期大学部	122	1 846

## 専攻科修了者

(人)

専 攻 科	平成15年度	累 計
助産学特別専攻	20	338

## 学部卒業生の就職等状況

(人)

区 分	就 職 決 定 者					自 進 そ の 営 学 他	計
	大 企 業	中 小 企 業	官 公 庁	そ の 他	小 計		
医療技術短期大学部				76	76	46	122



医療技術短期大学部

# 12 キャンパス

## 土地・建物・船舶

土地・建物

平成16年5月1日現在

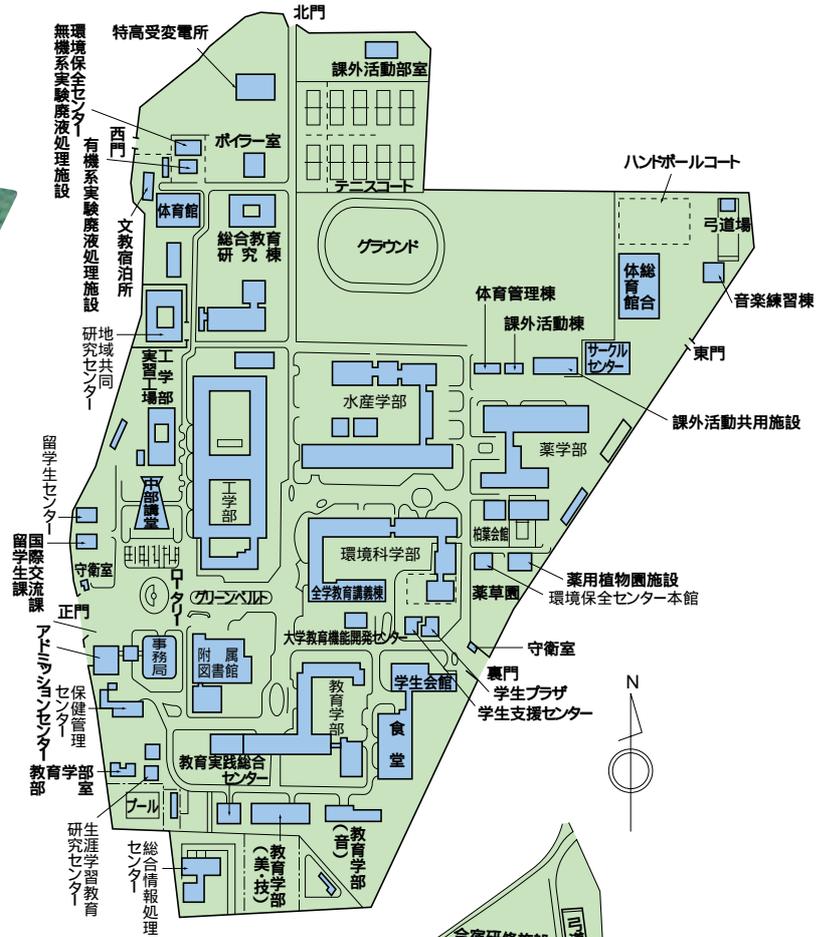
施設等	所在地	土地 (㎡)		建物(㎡)
		大学	借用	大学
事務局, 教育学部, 附属教育実践総合センター, 薬学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部, 附属図書館, 医歯薬学総合研究科, 附属薬用植物園, 総合教育研究棟, 保健管理センター, 総合情報処理センター, 地域共同研究センター, 生涯学習教育研究センター, 留学生センター, 機器分析センター, 大学教育機能開発センター, アドミッションセンター, 環境保全センター, 学生会館, 学生プラザ	長崎市文教町1番14号	187,125		<u>38,478</u> 117,733
職員集会所	長崎市上西山町11番1号	903		<u>228</u> 398
臨海研修所	西彼杵郡時津町子々川郷	1,450	229	<u>442</u> 743
教育学部附属小学校, 附属中学校, 附属幼稚園	長崎市文教町4番23号	51,185		<u>8,657</u> 16,521
教育学部附属養護学校	長崎市柳谷町42-1	12,529		<u>2,220</u> 3,423
経済学部	長崎市片淵4丁目2番1号	54,299	11	<u>6,978</u> 16,792
医学部, 熱帯医学研究所, 附属熱帯性病原体感染動物実験施設, 附属熱帯感染症研究センター, 医歯薬学総合研究科, 附属原爆後障害医療研究施設, アイソトープ実験施設, 動物実験施設, 遺伝子実験施設	長崎市坂本1丁目12-4	91,230		<u>15,421</u> 47,997
医学部納骨堂	長崎市銭座町4番59号		47	<u>13</u> 13
医学部・歯学部附属病院, 看護師宿舎, 歯学部, 医歯薬学総合研究科, 医療技術短期大学部	長崎市坂本1丁目7-1	86,766		<u>23,953</u> 110,874
医歯薬学総合研究科附属薬用植物園	西彼杵郡野母崎町野母1321	15,899		<u>497</u> 497
水産学部附属海洋資源教育研究センター	長崎市多以良町1551-7	10,900	105	<u>902</u> 1,490
職員宿舎		21,710		<u>3,838</u> 15,929
九州地区国立大学島原共同研修センター	島原市礪石原町甲1201	120,286		<u>1,936</u> 2,497
国際交流会館	長崎市西町12-1	3,043		<u>621</u> 2,139
西町課外活動施設		3,008		—
外国人教師宿舎		1,683		<u>48</u> 115
計		662,016	392	<u>104,232</u> 337,161
合計		662,408		

所属	船名	構成	トン数	馬力	備考
水産学部	鶴洋丸	鋼船	1,044.38	2,800	教官, その他の船員20名, 学生収容人員42名
	長崎丸	鋼船	842.00	2,800	" 21名, " 40名
学生支援部	鶴水	鋼船	27.80	430	その他の船員3名, 収容人員15名
	琴風	F R P		140	救助艇, 乗船定員10名

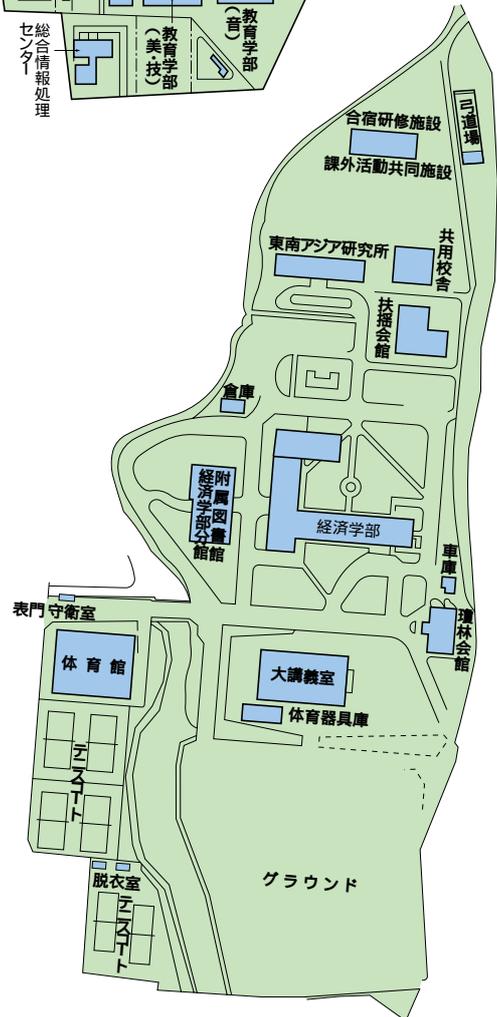


# 長崎大学地区別配置図

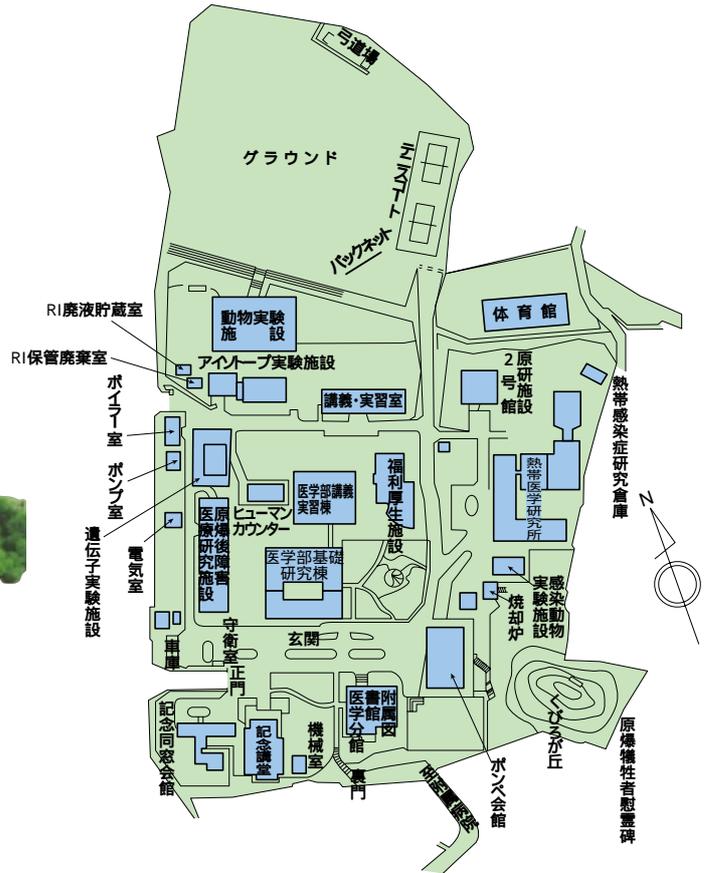
文教地区



片淵地区



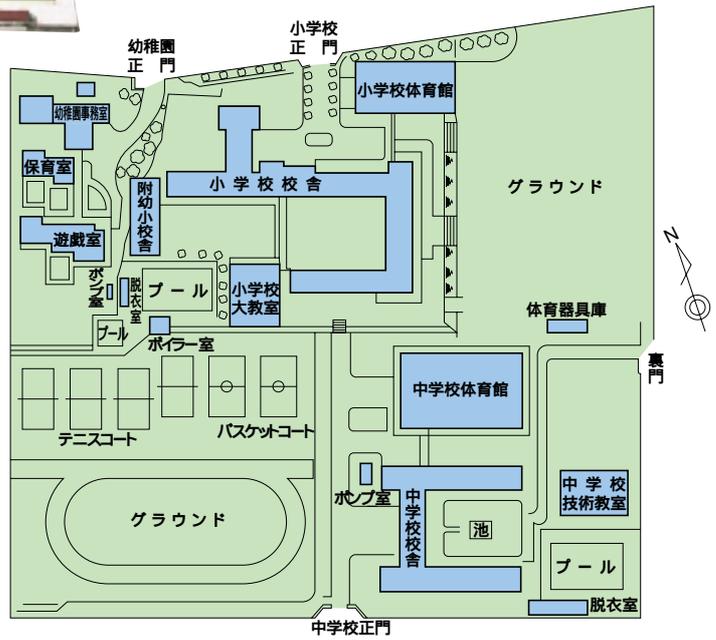
坂本地区（一）



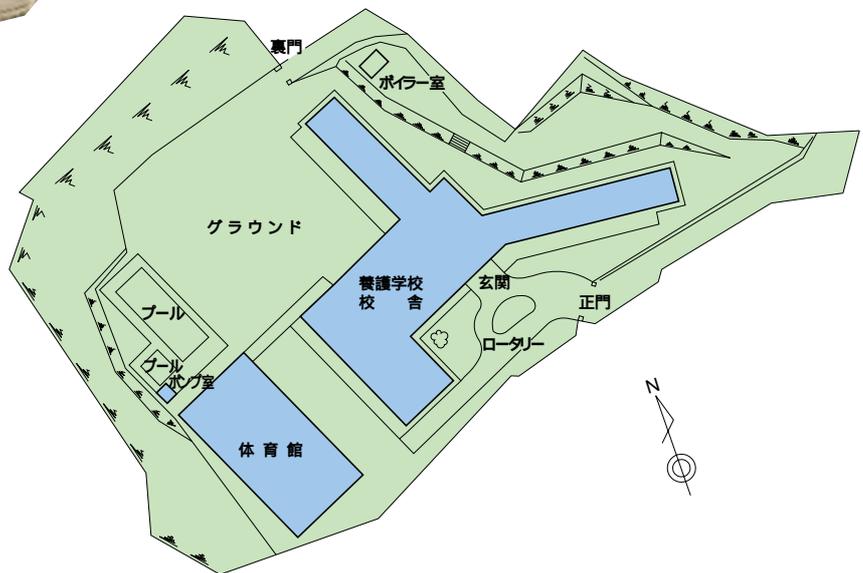
坂本地区（二）



附属学校（小学校・中学校・幼稚園）



附属学校（養護学校）



キャンパス



# 部局等所在地一覧

部局の名称	所在地	電話番号
・事務局	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2016 (総務課) 095 819 2031 (人事課) 095 819 2038 (学術国際課) 095 819 2050 (財務課) 095 819 2149 (出納課) 095 819 2151 (調達課) 095 819 2072 (学務課) 095 819 2103 (学生支援課) 095 819 2111 (入試課) 095 819 2124 (留学生課) 095 819 2131 (施設企画課) 095 819 2136 (施設整備課) 095 819 2141 (環境整備課) 095 819 2193 (情報管理課) 095 819 2198 (情報サービス課) 095 819 2214
・保健管理センター	〃 〃	
・先導生命科学研究支援センター		
・アイソトープ実験施設	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	095 849 7150
・動物実験施設	〃 〃	095 849 7134
・遺伝子実験施設	〃 〃	095 849 7191
・総合情報処理センター	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2222
・地域共同研究センター	〃 〃	095 819 2231
・生涯学習教育研究センター	〃 〃	095 819 2234
・留学生センター	〃 〃	095 819 2243
・機器分析センター	〃 〃	095 819 2413
・大学教育機能開発センター	〃 〃	095 819 2076
・アドミッションセンター	〃 〃	095 819 2113
・環境保全センター	〃 〃	095 819 2246
・国際交流会館	〒852 8043 西町 12 1	095 845 0201
・国際交流会館坂本分館	〒852 8102 坂本 1 丁目 7 1	095 849 7519
・臨海研修所	〒851 2111 西彼杵郡時津町子々川郷	095 882 8301
・教育学部	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2263
・教育学部附属教育実践総合センター	〃 〃	095 819 2291
・教育学部附属小学校	〒852 8131 文教町 4 23	095 819 2272
・教育学部附属中学校	〃 〃	095 819 2278
・教育学部附属養護学校	〒852 8046 柳谷町 42 1	095 845 5646
・教育学部附属幼稚園	〒852 8131 文教町 4 23	095 819 2288
・経済学部	〒850 8506 片淵 4 丁目 2 1	095 820 6300
・医学部		
・医学部保健学	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	(番号案内) 095 849 7000
・医学部歯学部附属病院	〒852 8520 坂本 1 丁目 7 1	(番号案内) 095 849 7900
・歯学部	〒852 8501 〃	(番号案内) 095 849 7200
・薬学部	〒852 8588 〃	(番号案内) 095 849 7600
・工学部	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2413
・環境科学部	〃 〃	095 819 2489
・水産学部	〃 〃	095 819 2713
・水産学部附属練習船鶴洋丸	〃 〃	095 819 2793
・水産学部附属練習船長崎丸	〃 〃	090 3022 2044
・水産学部附属海洋資源教育研究センター	〒851 2213 多以良町 1551 7	090 3022 2043
・熱帯医学研究所	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	095 850 7311
・熱帯医学研究所附属熱帯病原体感染動物実験施設	〃 〃	(番号案内) 095 849 7800
・熱帯医学研究所附属熱帯感染症研究センター	〃 〃	〃
・附属図書館	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2193
・生産科学研究科	〃 〃	095 819 2491
・医歯薬学総合研究科	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	(番号案内) 095 849 7000
	〒852 8588 坂本 1 丁目 7 1	(番号案内) 095 849 7600
	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2413
・附属原爆後障害医療研究施設	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	(番号案内) 095 849 7000
・附属薬用植物園 [文教地区]	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2413
・附属薬用植物園 [野母崎地区]	〒851 0505 西彼杵郡野母崎町野母 1321	095 893 0280
・医療技術短期大学部	〒852 8520 坂本 1 丁目 7 1	(番号案内) 095 849 7900
・九州地区国立大学島原共同研修センター	〒855 0026 島原市礪石原町甲 1201	0957 64 2201



# 長崎大学位置図

## 長崎県



### 臨海研修所

水産学部附属海洋資源教育研究センター  
 教育学部附属養護学校  
 教育学部附属小学校，附属中学校，附属幼稚園  
 事務局，教育学部，附属教育実践総合センター，  
 薬学部，工学部，環境科学部，水産学部，  
 附属図書館，生産科学研究科，  
 医歯薬学総合研究科（薬学系），附属薬用植物園，  
 保健管理センター，  
 総合情報処理センター，地域共同研究センター，  
 生涯学習教育研究センター，留学生センター，  
 大学教育機能開発センター，  
 アドミッションセンター，環境保全センター

医学部（医学科），熱帯医学研究所，  
 附属熱帯性病原体感染動物実験施設，  
 附属熱帯感染症研究センター，  
 医歯薬学総合研究科（医学系），  
 附属原爆後障害医療研究施設  
 先導生命科学研究支援センター  
 医学部・歯学部附属病院，歯学部，  
 医歯薬学総合研究科（歯学系），医学部（保健学科）  
 医療技術短期大学部  
 経済学部  
 医歯薬学総合研究科附属薬用植物園  
 九州地区国立大学島原共同研修センター



## 長崎市

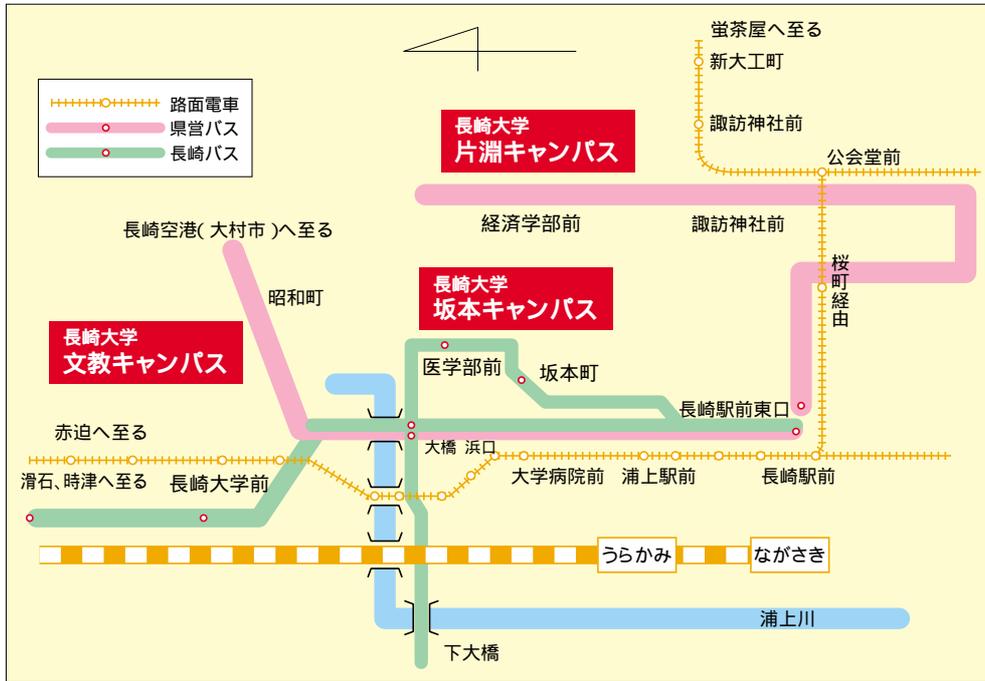


経済学部  
 医学部・歯学部附属病院，歯学部，  
 医歯薬学総合研究科（歯学系），医学部（保健学科）  
 医療技術短期大学部  
 医学部（医学科），熱帯医学研究所，  
 附属熱帯性病原体感染動物実験施設，  
 附属熱帯感染症研究センター，  
 医歯薬学総合研究科（医学系），  
 附属原爆後障害医療研究施設，  
 先導生命科学支援センター

事務局，教育学部，附属教育実践総合センター，  
 薬学部，工学部，環境科学部，水産学部，  
 附属図書館，生産科学研究科，  
 医歯薬学総合研究科（薬学系），附属薬用植物園，  
 保健管理センター，  
 総合情報処理センター，地域共同センター，  
 生涯学習教育研究センター，留学生センター，  
 機器分析センター，大学教育機能開発センター，  
 アドミッションセンター，環境保全センター  
 附属小学校，附属中学校，附属幼稚園  
 国際交流会館  
 附属養護学校

# 13

## 長崎大学交通案内



### 利用交通機関

**文教キャンパス**  
教育学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部・附属図書館・事務局等  
(長崎市文教町1-14)

- 路面電車** ▶ 『長崎駅前』から「赤迫」行き、『長崎大学前』下車，徒歩約1分
- バス** ▶ 『長崎駅前』から長崎バス1番系統「滑石」，「時津」行き，『長崎大学前』下車，徒歩約1分
- 航空機** ▶ 長崎空港(大村市)から長崎方面行きバス(浦上経由)，『昭和町』(約50分)下車，徒歩約10分

**片淵キャンパス**  
経済学部  
(長崎市片淵4丁目2-1)

- 路面電車** ▶ 『長崎駅前』から「蛸茶屋」行き，『諏訪神社前』又は『新大工町』下車，徒歩約10分
- バス** ▶ 『長崎駅前東口』から県営バス「循環」，「立山」，「東高下」，「浜平」，「西山木場」行き，『経済学部前』下車，徒歩約1分
- 航空機** ▶ 長崎空港(大村市)から長崎方面行きバス(諏訪神社経由)，『諏訪神社前』(約50分)下車，徒歩約15分

**坂本キャンパス1**  
医学部(医学科)・熱帯医学研究所等  
(長崎市坂本1丁目12-4)

- 路面電車** ▶ 『長崎駅前』から「赤迫」行き，『浜口町』下車，徒歩約10分
- バス** ▶ 『長崎駅前』から長崎バス8番「下大橋(医大経由)」行き，『医学部前』下車，徒歩約1分
- 航空機** ▶ 長崎空港(大村市)から長崎方面行きバス(浦上経由)，『浦上駅前』(約55分)下車，徒歩約15分

**坂本キャンパス2**  
医学部・歯学部附属病院・歯学部・医学部(保健学科)  
(長崎市坂本1丁目7-1)

- 路面電車** ▶ 『長崎駅前』から「赤迫」行き，『大学病院前』下車，徒歩約5分
- バス** ▶ 『長崎駅前』から長崎バス8番「下大橋(医大経由)」，行き，『坂本町』下車，徒歩約1分
- 航空機** ▶ 長崎空港(大村市)から長崎方面行きバス(浦上経由)，『浦上駅前』(約55分)下車，徒歩約10分



平成15年度に竣工した学生プラザ(左側奥), 学生支援センター(左側手前)及び学生会館(右側)



## 平成16年度 国立大学法人 長崎大学概要

編集発行 長崎大学総務部総務課

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL 095-819-2014

Homepage <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>